保証書別添
保管用

NAiS電動カート
マイウォーク
EZ4701-G

取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。(介助のかたも必ずお読みください。)
- この取扱説明書は必ず保管してください。
- カートを他人に譲渡したり、貸出す場合は、取扱説明書もお渡しください。

ご使用まえに
充電のしかた
運転のしかた
お手入れ・保管
点検
お知らせ

目次

ご使用まえに

●安全上のご注意 ……3～8
●各部のなまえと働き ……9～11

充電のしかた

……12～14

運転のしかた

●運転を覚えましょう ……15～20
1 コードの収納確認 ……15
2 バックミラーの調整 ……15
3 乗車する ……15
4 キースイッチを入れる ……16
5 バッテリー残量を確認する ……16～17
6 前進・後進の設定 ……18
7 最高速度の設定 ……18
8 発進操作をする ……19
9 停止操作をする ……19～20
10 降車する ……20
●その他の操作方法 ……21～22
■ウィンカー（方向指示器）の出しかた ……21
■クラクション（警笛）の使いかた ……21
■非常停止ボタンの使いかた ……21
■クラッチの使いかた ……22

●ランプやブザー表示について ……23～24
●実際に走行してみましょう ……25～26

お手入れ・保管 ……27

点　検

●日常点検 ……28
●定期点検 ……29～31
●主な部品の点検・整備 ……32～34

お知らせ

●仕様 ……35
●別売品について ……36
●故障かな?!と思ったとき ……37～38
●保証とアフターサービス ……39

ご使用まえに ●安全上のご注意

●製品を安全に正しくお使い頂き、お客様の危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので必ずお守りください。
●誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を下の表示マークで区分しています。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例

⃠記号は、**禁止**の行為を示しています。
左図の場合は分解禁止が描かれています。

●記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。
左図の場合はプラグをコンセントから抜くが描かれています。

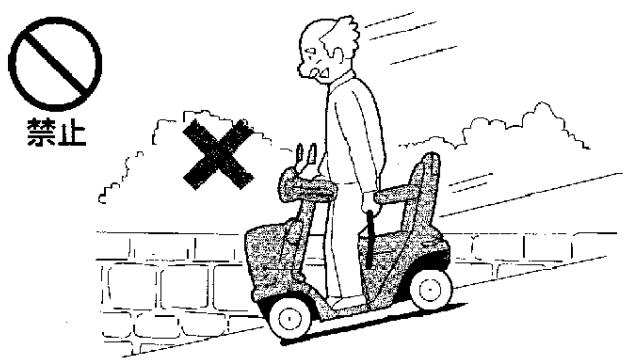
※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。(ボックスの中へ保管することをおすすめします)

次のかたは電動カートをご利用できませんのでご注意ください

- ●安全や危険の判断ができない。
- ●交通ルールが理解できない。
- ●首や体幹が維持できない。
- ●上肢左右ともに力が入らない。
- ●視覚、聴覚に障害があり周囲の状況が判断できない。
- ●商品の使いかたが理解できない。
- ●充電するための場所がない。

※ご自身で運転可否の判断が難しい場合は、医師もしくは市町村役所の福祉課にご相談ください。

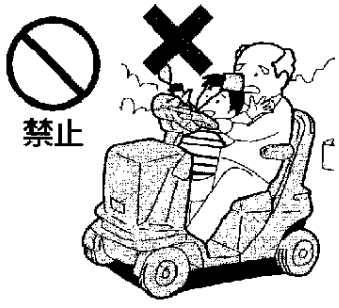
⚠危険



●乗車中や坂道では絶対にクラッチレバーを上げない。
●緊急時以外はクラッチレバーを上げない。

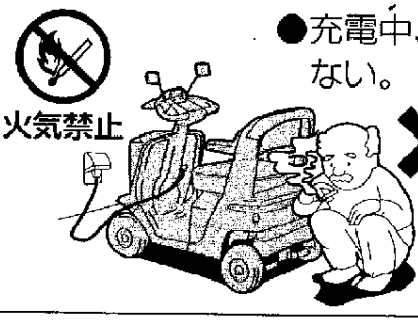
重大事故のおそれがあります。

⚠警告



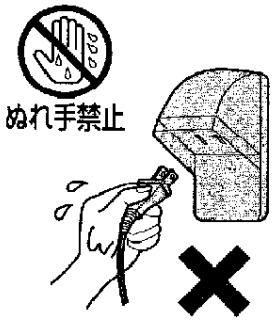
●2人乗りやけん引走行をしない。(特に子供を乗せない)

事故のおそれがあります。



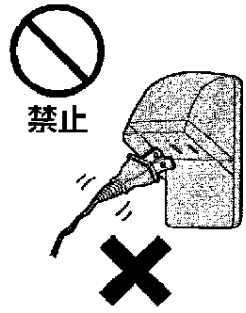
●充電中、火気を近づけない。

爆発のおそれがあります。



●ぬれたプラグやぬれた手で充電しない。
●プラグを使用するときは水や雨がかからない様にする。
●延長コードを使用するときは、接続部も濡れない様にする。

感電のおそれがあります。



●損傷、変形のある電源コードやプラグを使用しない。
●コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火のおそれがあります。

●本体を分解したり修理改造をしない。

事故のおそれがあります。

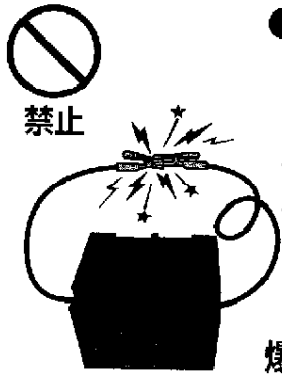
・修理は必ず販売店にご相談ください。

●バッテリーの液体(希硫酸)が、目・体・衣服に付着したときは、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受ける。

失明やけがのおそれがあります。

●バッテリーを火の中に入れたり分解しない。

爆発のおそれがあります。



●バッテリーの⊕端子と⊖端子を接触させない。

爆発のおそれがあります。

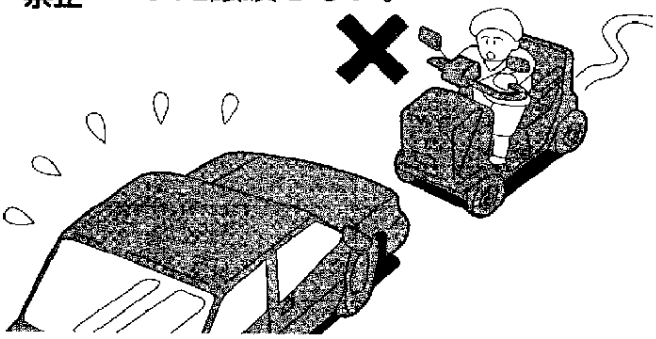
ご使用まえに ●安全上のご注意

⚠注意

マイウォークは道路交通法上歩行者として扱われ、運転免許は必要ありませんが、歩行者として交通ルールを守ってください。事故によるけがのおそれがあります。

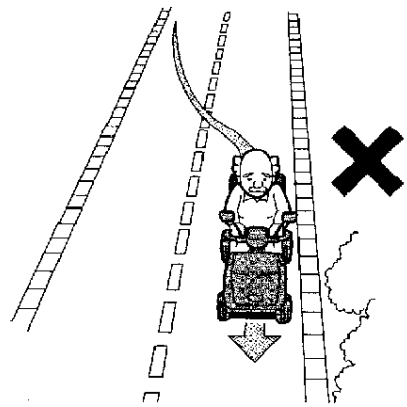
禁止

●使い方や交通ルールを理解及び遵守できない人を乗車させない また譲渡しない。



禁止

●道路の斜め横断禁止。



必ず守る

●歩行者標識や信号に従う。

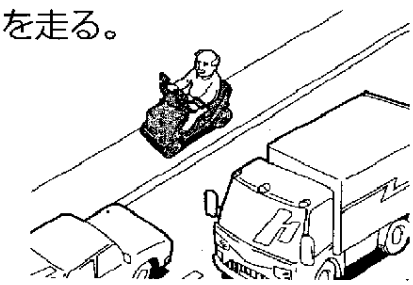
(例)

歩行者専用

歩行者及び自転車専用

必ず守る

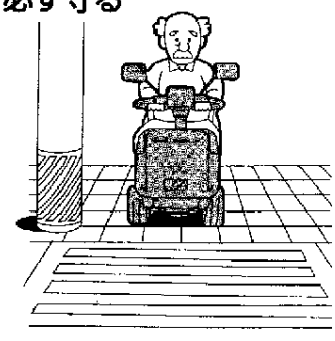
●歩道を走る。



・歩道のない道路や歩道を通行できない場合は、車や段差に十分注意して右側通行してください。
(路側帯がある場合は、路側帯を通行してください。)

必ず守る

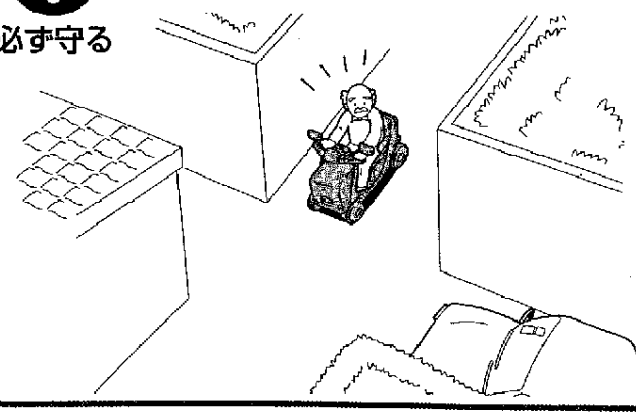
●横断歩道を渡るときは一旦停止。



・渡る前に一旦停止して、左右の安全を確認してください。

必ず守る

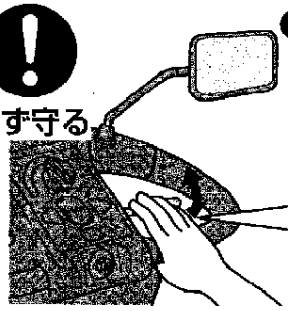
●交差点は一旦停止。



⚠注意

走行前の点検を行い、無理な使い方をしないでください。
事故のおそれがあります。

必ず守る

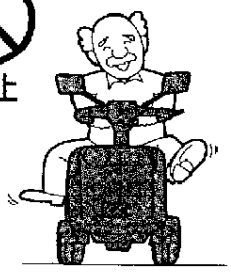


●キースイッチを「切」の状態でアクセルレバーの動作を確認する。

禁止

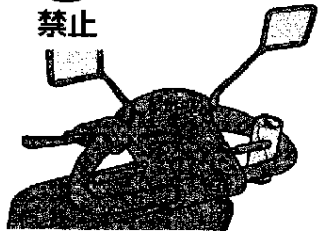
●急旋回や、蛇行運転をしない。

禁止



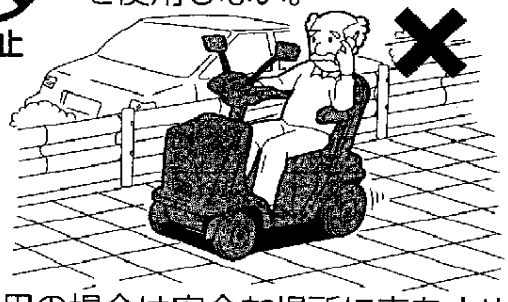
●足や体を車体からはみ出したり、わき見運転しない。

禁止



●アクセルレバーを固定して走行したり手放し運転しない。

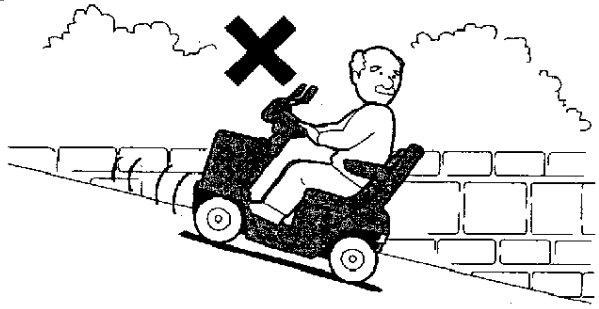
禁止



●走行中、携帯電話・無線機・ラジオを使用しない。

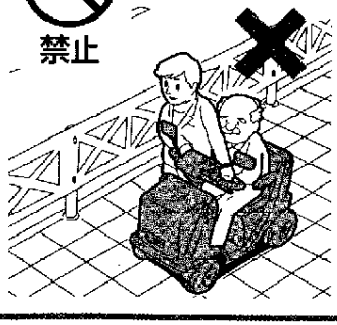
・使用の場合は安全な場所に車を止めてキースイッチを「切」にしてください。

禁止



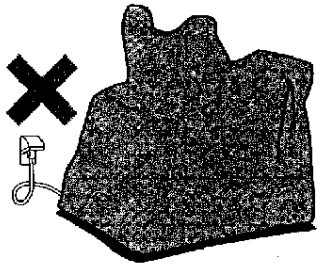
●急な下り坂（10度以上）での後進はしない。

禁止



●介助者が、カートを押す等して運転しない。

禁止



●本体を密閉した状態で充電しない。

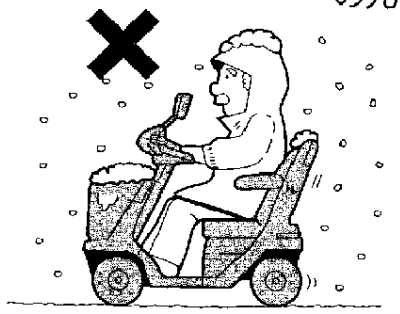
ご使用まえに ●安全上のご注意

⚠注意

使用条件を守り、能力以上の使いかたをしないでください。
事故や故障のおそれがあります。

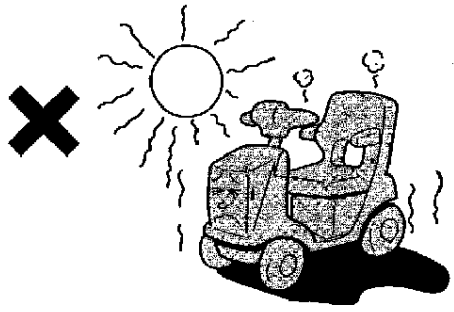
禁止

●0℃～40℃以外の気温での走行、－10℃～40℃以外の気温での充電はしない。



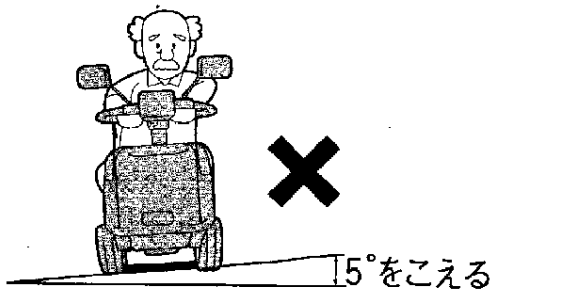
禁止

●－10℃以下、または50℃以上の場所で保管しない。



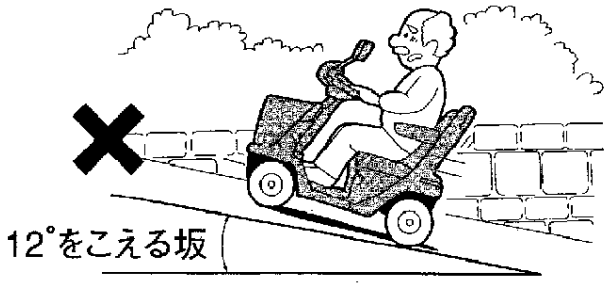
禁止

●5度以上の傾斜面・傾斜地を走行しない。



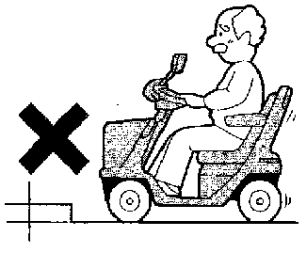
禁止

●12度をこえる坂道を走行しない。



禁止

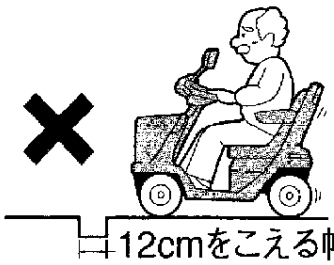
●高さ8cmをこえる段差を走行しない。



・段差を渡るときは、段差に対して直角にゆっくり走行してください。
・下り坂での段差の乗り越えは避けてください。

禁止

●幅12cmをこえる溝は通過しない。

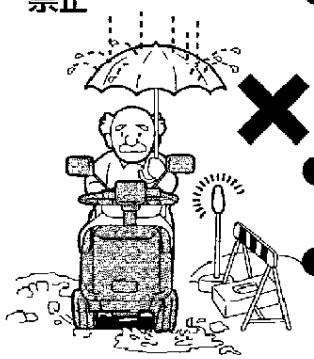


・溝を通過するときは、溝に対して直角に、両手でしっかりとハンドルを握ってゆっくり走行してください。
・下り坂での溝の通過は避けてください。

⚠注意

次のような場所や状況下では走行しないでください。
事故のおそれがあります。

禁止



- ●悪天候（降雨、降雪、濃霧、強風、雷雨）
- ●凍結した道、雪道ぬかるみ、あぜ道、砂利道、凸凹の激しい道
- ●防止柵のない側溝の近く
- ●エスカレーター

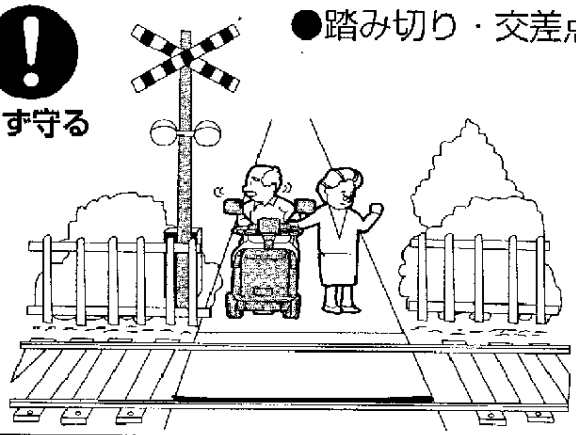
禁止

- ●気分のすぐれないとき、飲酒運転、いねむり運転

次のような場所では十分に周囲の安全を確認し、
介助者を同行するなど注意してください。

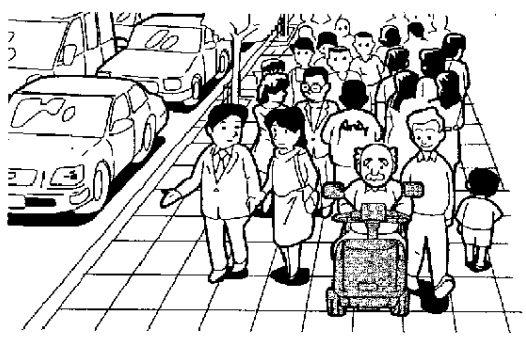
必ず守る

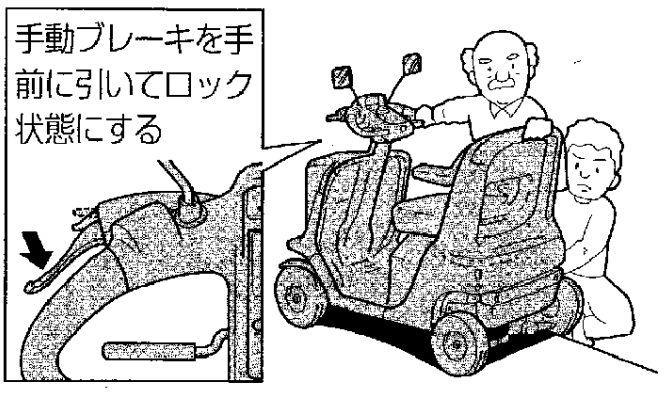
- ●踏み切り・交差点



必ず守る

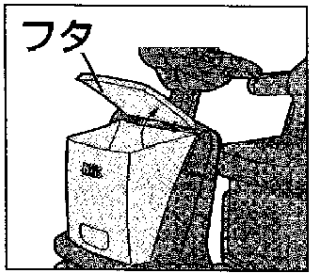
- ●交通量の多い所や混雑した場所や、夜間の走行





- ●万一、脱輪したときは手動ブレーキをロックにして本体を持ち上げる。
  - ・守らないと坂道ですべり落ちるおそれがあります。
  - ・脱輪時の脱出は必ず2人以上で行ってください。

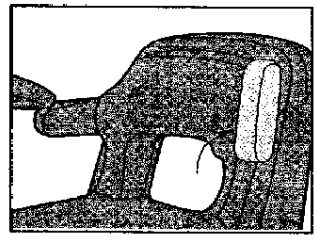
ご使用まえに ●各部のなまえと働き



●シート
※シート位置は前後調整ができます。
ハンドル操作が行いにくく調整が必要なときは、34ページを参照の上、固定して頂くか販売店にご相談ください。出荷時は最後部に固定されています。

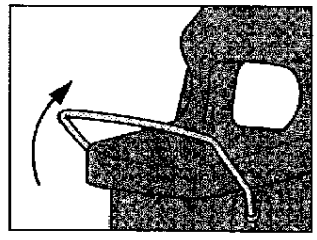
●ウィンカー
（方向指示器）

●ボックス
（最大積載重量3kg）
緊急連絡先カードや取扱説明書を常に入れておいてください。



●アームレスト
乗り降りが楽にできる跳ね上げ式。

●ライト



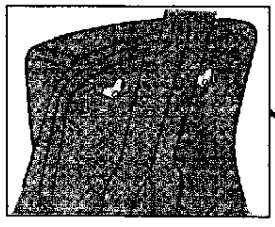
●タイヤ
クギが刺さってもパンクしないウレタン注入タイヤ。

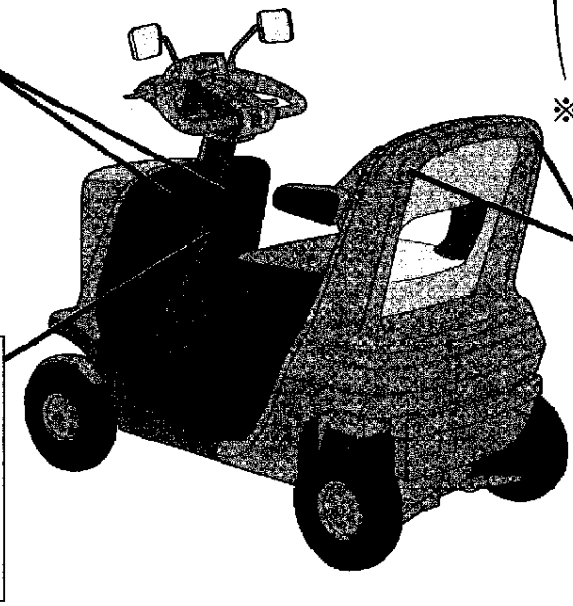
●タイヤカバー

●クラッチレバー
レバーを上げると、クラッチが切れ、車体を手で押せるようになります。
- 緊急時以外は使用しないでください。
- クラッチレバー使用時は必ずキースイッチを「切」にしてください。

※22ページ参照

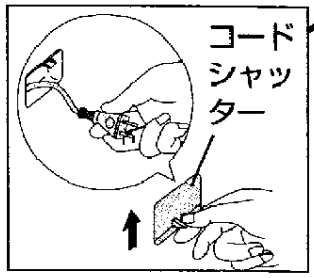
●買い物フック（左右2ケ所）
（最大積載重量1.5kg）
買い物袋を掛けるのに便利です。





●ウィンカー
（方向指示器）

●充電コード（1.5m）
コードシャッターを上げて引き出してください。



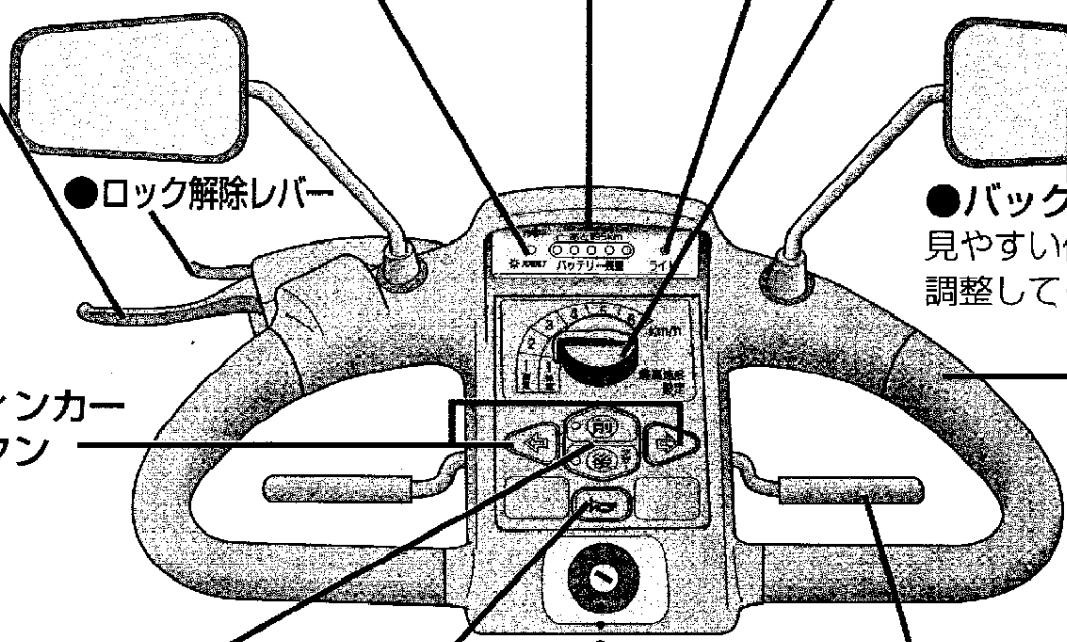
●充電表示（赤色）
充電中、ランプが点灯し、充電がおわると点滅します。

●バッテリー残量表示（緑色）
5段階表示のランプでバッテリー残量をお知らせします。

●ライト点灯表示（赤色）
ライト点灯時、ランプが点灯します。

●最高速度調節ダイヤル
ダイヤルを回して、前進は1～6 km/h、後進は1～2 km/hの最高速度を設定します。

●手動ブレーキレバー
クラッチレバーを上げたときや脱輪時の脱出の際に、使用します。



●ロック解除レバー

●バックミラー
見やすい位置に調整してください。

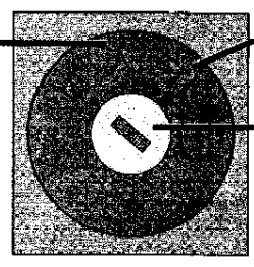
●ハンドル

●ウィンカーボタン

●クラクションボタン（警笛）

●前進、後進切替ボタン

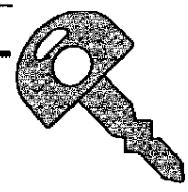
●アクセルレバー
下に押すと発進、離せば止まります。手前にひくと緊急ブレーキがかかります。
（緊急ブレーキは手を離すと解除されます。）



通常走行

ライトが点灯します。

キー



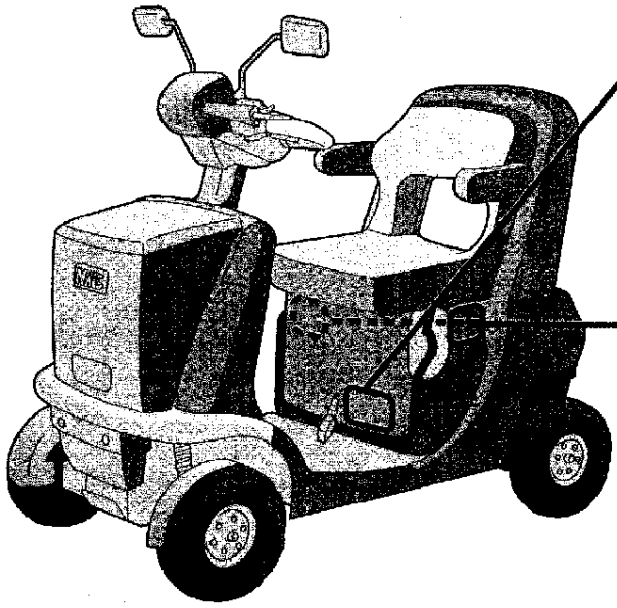
●キースイッチ

（スペアキー付属）

本体警告ラベルの位置

※警告ラベルを故意にはがしたり汚したりしないでください。

● ご乗車前にご確認ください



⚠危険

禁止

重大事故のおそれあり

- 乗車時や坂道では絶対にクラッチレバーを上げない。

⚠危険

重大事故のおそれあり

- 乗車時や坂道では絶対にクラッチレバーを上げない。

⚠ 警告

濡れ手禁止

感電のおそれあり

- 濡れたプラグや濡れた手で充電しない。

火気禁止

引火爆発のおそれあり

- 充電中、バッテリーに火気を近づけない。

使用後、すぐに充電してください。

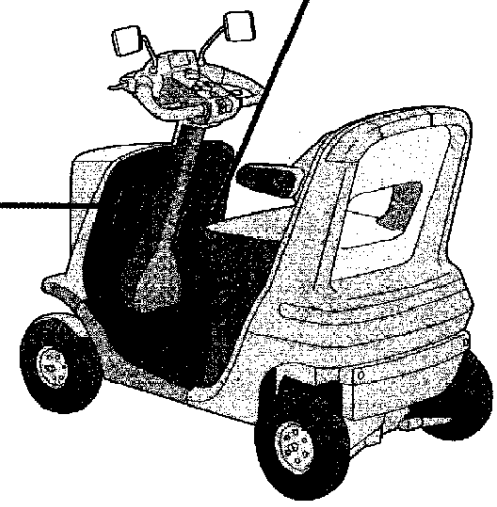
取扱説明書をよく読んでから使用してください。

⚠ 注意

必ず守る

事故によるケガの原因になりますので下記事項をお守りください。

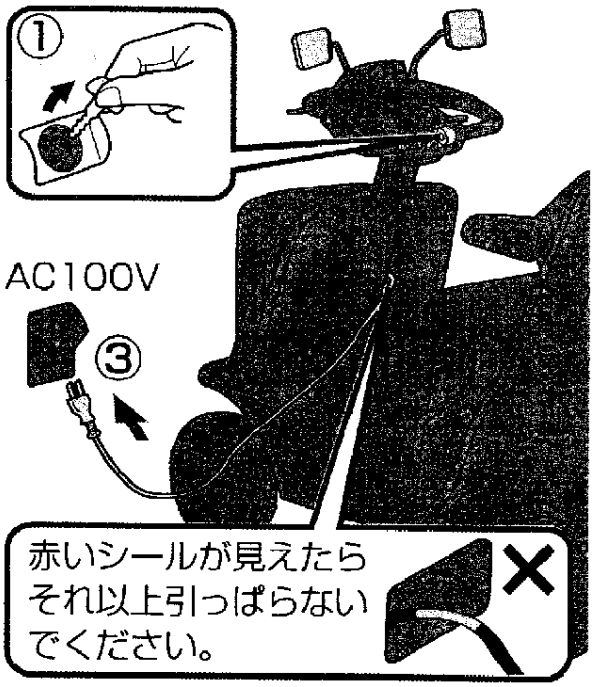
- 電動カートは歩行者扱いです。交通ルールを守って走行する。
- 降車、駐車は必ず平坦な場所で行なう。
- 携帯電話や無線機等は、安全な場所に車を止め、キースイッチを「切」にして使用する。
- 使用者最大体重（積載物含む）100kgを超えて使用しない。
- 急旋回、蛇行運転をしない。
- 2人以上の乗車走行やけん引走行をしない。
- 次のような場所や状況下では走行しない。
  - 雨天、強風、降雪など悪天候時や凍結した道や雪道
  - 深いじゃり道など極端に状態の悪い道
  - 夜間や濃霧時など前方の視界が悪い時
  - 12度以上の急な坂道や5度以上の傾斜面の横断
  - 防止柵のない側溝および池等の路肩
  - 高さ8cmを超える段差や幅12cmを超える溝
  - 気分がすぐれない時、飲酒時
- 使い方や交通ルールを理解できない人を乗車させない。



充電のしかた

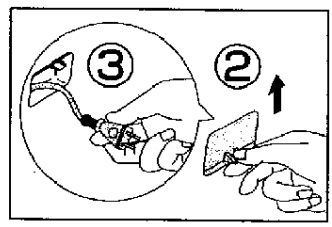
購入後は必ず初めに充電してください。

充電可能温度範囲－10℃~40℃



① キーを「切」の位置にして、抜きます。
（「入」または「ライト」の位置では充電できません。）

② コードシャッターを上にあげます。



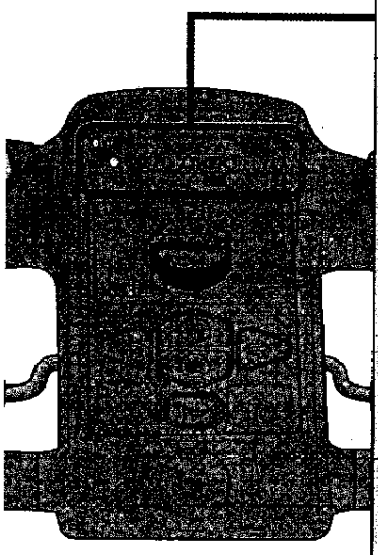
③ 本体から充電コードを引っぱってコンセントに差し込みます。

④ パネル面の「充電表示」と「バッテリー残量表示」のランプが点灯し、電池残量表示が充電の経過をお知らせします。
（空の状態から充電完了までの充電時間は約8時間です。）

⑤ パネル面の「充電表示」のランプが点滅したら充電完了です。
（充電コードは軽くひっぱり収納しましょう。（15ページ参照））

バッテリー残量表示のみかた

- 点灯しない場合は一旦プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再びコンセントに差し込んでください。（それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。）
- 充電時間は周囲温度により多少変化します。



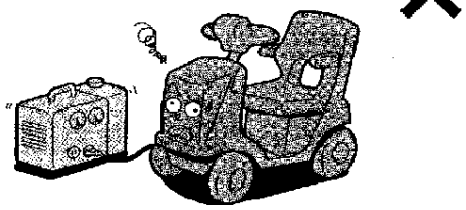
ランプの動作説明（消灯 ○　点滅 ☼　点灯 ●）	
充電中 ● ☼ ○ ○ ○ ○ → ● ● ☼ ○ ○ ○ → ● ● ● ☼ ○ ○ → ● ● ● ● ☼ ○ → ● ● ● ● ● ☼	「充電表示」のランプ（赤）が点灯し、「バッテリー残量表示」のランプ（緑）が充電の経過をお知らせします。
充電完了 ☼ → ● ● ● ● ●	「充電表示」のランプ（赤）が点滅したら、充電完了です。

充電のしかた

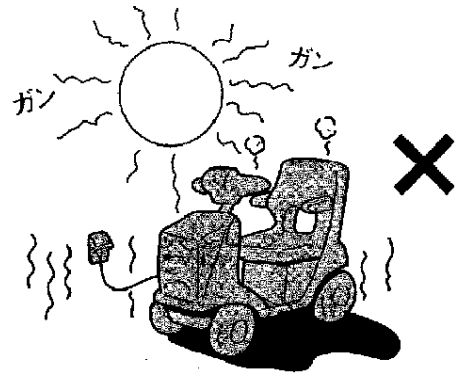
ご注意

故障の原因となりますのでご注意ください。

●エンジン発電機・変圧器で充電しないでください。



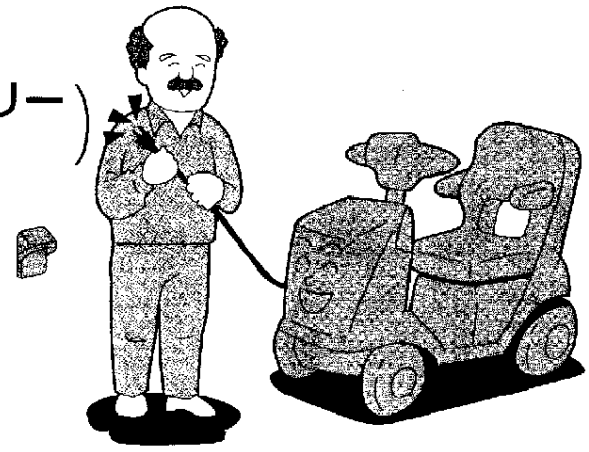
●直射日光をさけ、湿気の少ない風通しのよいところで充電してください。



アドバイス

●使わないときは必ず満充電にし3ヵ月に1度は充電してください。
（電源スイッチが「切」でもバッテリーは少しずつ消耗します。）

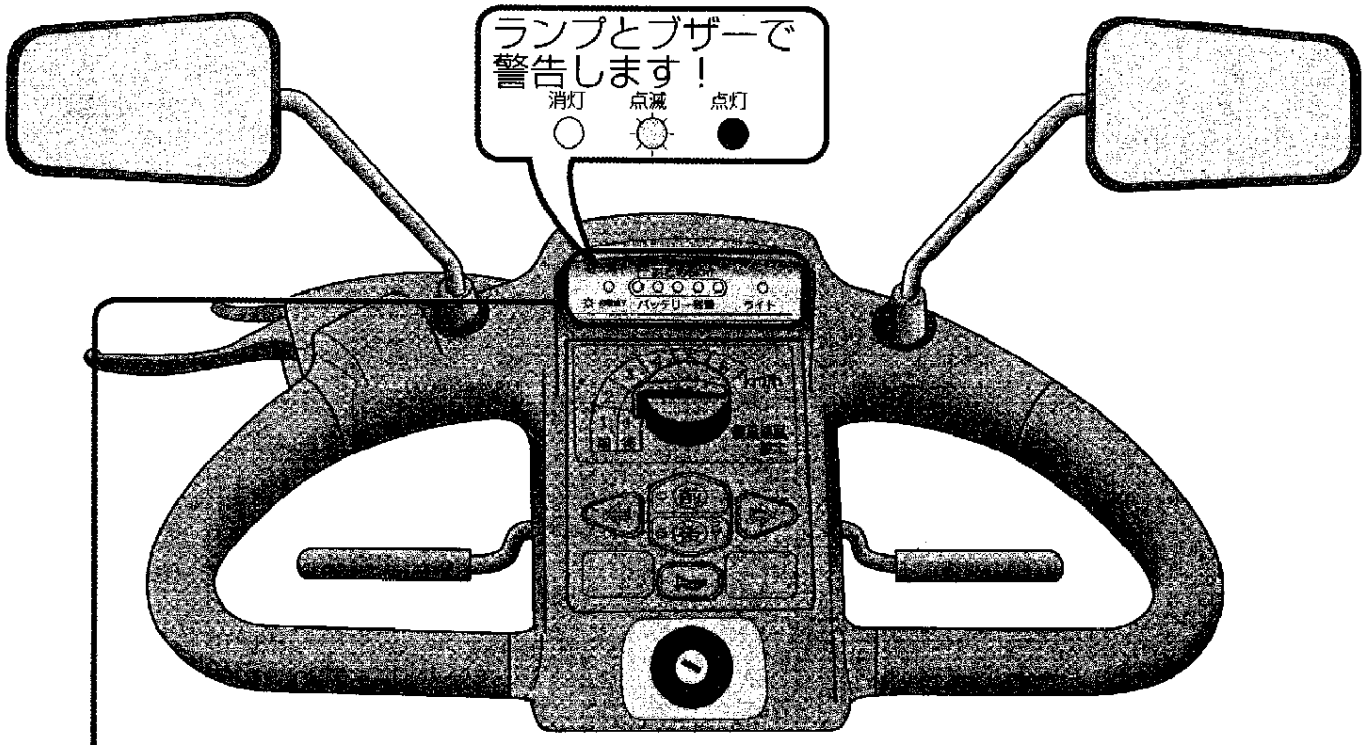
●バッテリーは空の状態にしない事が長持ちの秘訣です。
使用後すぐに充電してください。
（バッテリー残量に関係なく、使用後は充電完了まで充電されることをおすすめします。）



●バッテリーが満充電でない状態での使用をくり返すとバッテリーの性能劣化が早くなり、バッテリー寿命が通常より短くなるおそれがあります。

警告表示を覚えてください

音とバッテリー残量表示ランプで警告表示します。必ず内容を確認して対応してください。（下記表参照）



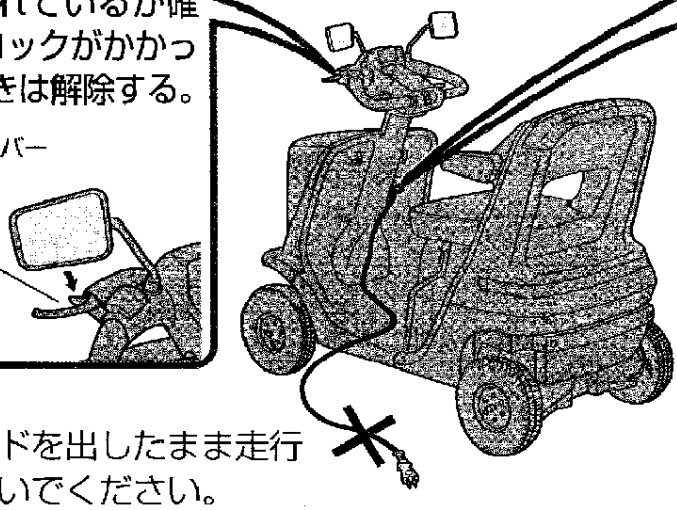
ランプ表示	ブザー	警告内容	対応方法
○充電中 ●充電完了 (6Km/h平地走行時) ⌐あと約5km バッテリー残量 ○ライト 緑ランプ全て点滅	ピピピピ…	**●キースイッチ「入」警告** キースイッチを「入」のまま充電しようとされています。	キースイッチを「切」の位置にしてください。
○充電中 ○充電完了 (6Km/h平地走行時) ⌐あと約5km バッテリー残量 ○ライト 緑ランプ4個点滅、1個点灯	ピー	**●故障警告** 充電機能が故障しています。	販売店にご相談ください。
		●低温充電警告 −10℃より低い温度で充電しようとしています。	−10℃～40℃の範囲で充電してください。

使用可能温度範囲0℃～40℃

1 コードの収納と手動ブレーキの位置を確認する

手動ブレーキのロックが解除されているか確認する。ロックがかかっているときは解除する。

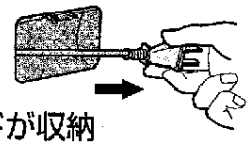
ロック解除レバーを引くとロック解除



● コードを出したまま走行しないでください。

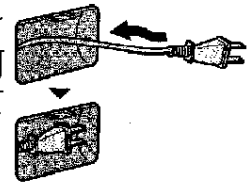
コードの収納方法
(無理に押し込まないでください)

①軽くひっぱって離す



②自動的にコードが収納

コードが収納されないときは何回か引っぱってください。

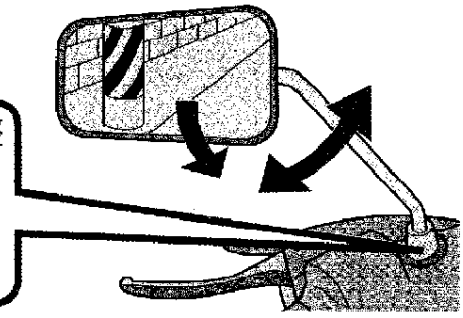


③コードシャッターを閉める

2 バックミラーを調節する

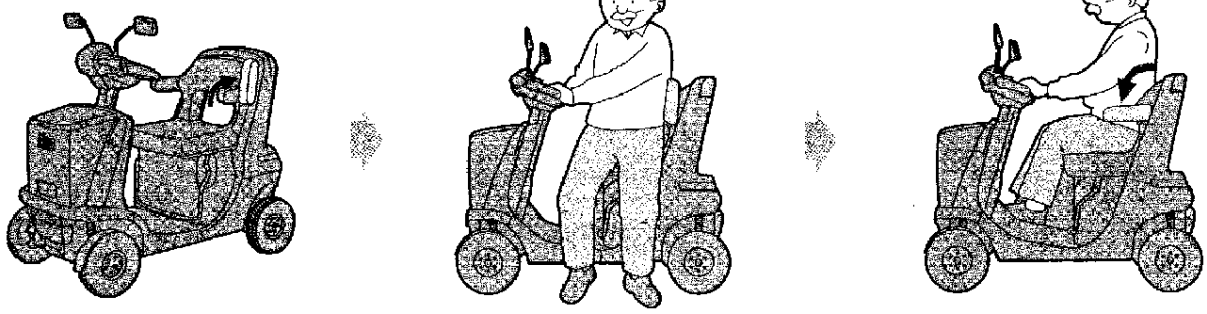
● 後方の視界が見えるように調節してください。

バックミラーの根元部分の調整は34ページをご参照ください。
(詳しくは販売店にご相談ください。)



3 乗車する

● アームレストを上にあげると乗りやすくなります。走行時はアームレストを下げてください。



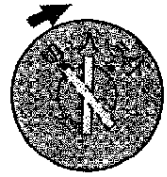
⚠注意

必ず守る

● 乗車、降車は平坦な場所で行ってください。
● 使用者最大体重(積載物含む)100kgを超えて使用しないでください。
守らないと事故によるけがのおそれがあります。

4 キースイッチを入れる

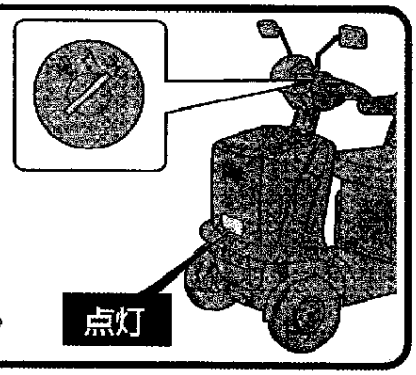
①アクセルレバーの動作を確認する（上までスムーズにもどる）
②キーを差し込んで「入」の位置にする（ライトを点灯させるときは「ライト」の位置に）
※次の状態でキーを「入」の位置にすると警告音が鳴り、走行できません。
・アクセルレバーを押した状態。
・非常停止ボタン（メーカーオプション）が押されている状態。



ライトの点灯のしかた

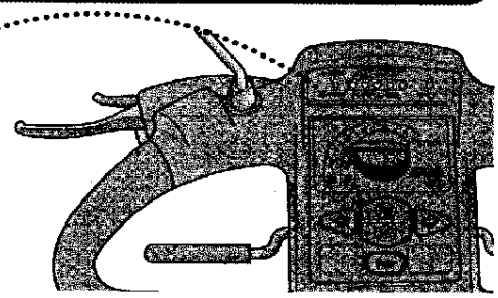
辺りが薄暗いときや視界がはっきりしないときにご使用ください。

①キースイッチを図の様にライトまで回してください。
②本体前面のライト及びウィンカーランプが点灯します。
またパネル面の「ライト点灯表示」ランプが点灯します。



5 バッテリー残量を確認する

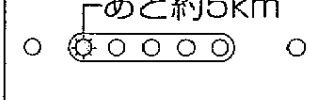
- キースイッチを「入」または「ライト」に入れるとバッテリー残量のランプ（緑）が点灯します。
- 発進はキースイッチを「入」にして1秒以上たってから（ピッと音がしてから）行ってください。



〈フル充電時の走行距離の目安〉※条件（周囲温度や路面状態など）により変わりますので余裕をもって走行ください。

条件（時速6km，周囲温度25℃）		距離※2	
		平坦地	傾斜地（5度）
使用者重量 バッテリー容量	55kg 90%	約 30 km	約 8.5 km
※1 使用者重量 バッテリー容量	100kg 70%	約 17 km	約 4.5 km

※1 JIS T9203-1999に準ずる。
※2 ライト点灯時は約5%走行距離が短くなります。



（フル充電で緑ランプが5個点灯し徐々に消えます。）

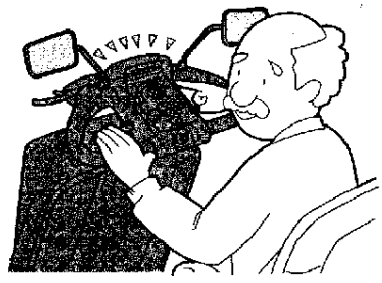
■あと約5km
●緑ランプが1つになり点滅に変わります。
同時にブザーが5回鳴ります。

■あと約100m ※3
●停止するまで警告音が鳴り続けます。
●緊急時やむを得ない場合は、キースイッチを「切」にし、再び「入」にすると更に約100m走行出来ます。
（但し、著しくバッテリーを、劣化させる場合がありますので、緊急時以外は避けてください。）

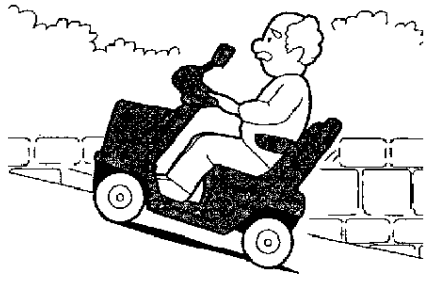
※3 坂を登り続けた場合は警告音が鳴らない場合があります。

アドバイス

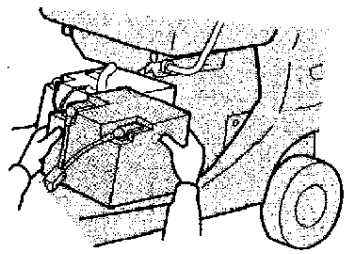
●長期間放置した後は必ず満充電し、2～3分走行してからバッテリー残量を確認してください。



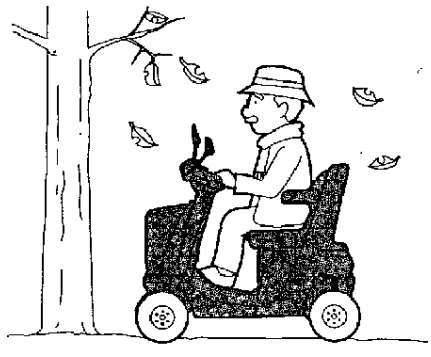
●登坂走行や段差乗り越えなどの多いところでの走行は、平地に比べバッテリーの消費が増えるため、走行距離は短くなります。



●バッテリーは正しく使用していても月日が経つと徐々に性能が衰えていくため、新品時に比べ走行距離は短くなっていきます。
同じ様な使い方をしていても、バッテリー残量計の減り具合が早くなってきた時は、バッテリーを交換してください。(P32～33参照)
(目安：満充電時の走行距離がバッテリー新品時の半分程度になったとき。)

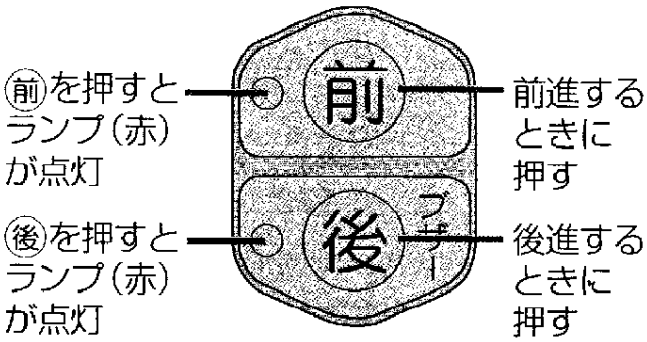


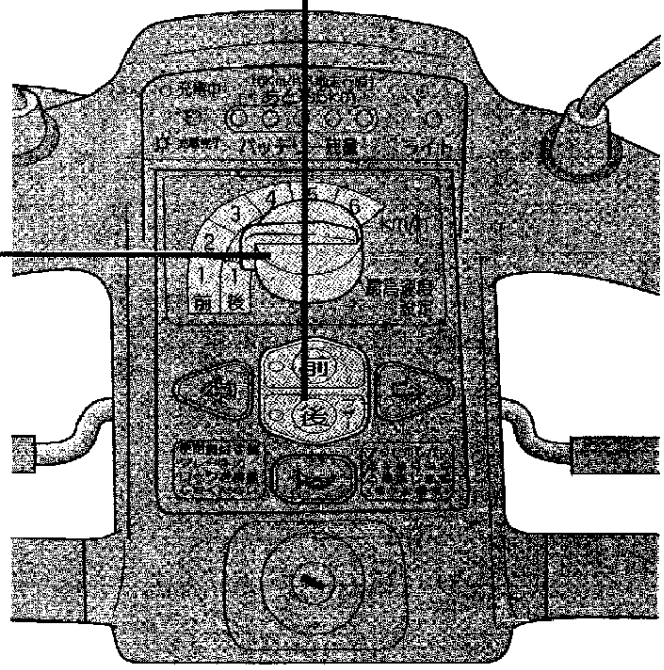
●冬期はバッテリーの働きが弱まり、走行距離が短くなることがあります。



6 前進、後進の設定

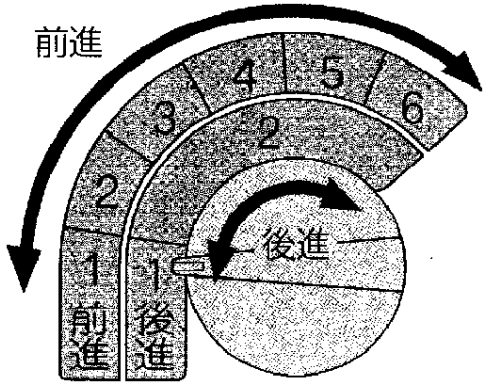
- まずは前進から練習を始めてください。
- 後進時はブザーが鳴ります。





7 最高速度の設定

- 慣れるまではダイヤル「2」以下で走行してください。
- 設定値が最高速度になります。設定値内の速度コントロールはアクセルレバーで行います。



- 走行速度について
  前進　時速1～6km
  後進　時速1～2km※
  （※2以上に設定しても時速2km以上スピードは出ません。）

メモリ(km/h)	走行のめやす
1～2	**ゆっくり歩く程度の速度** ●上り坂、下り坂 ●混雑している場所 ●屋内や狭い場所
2～4	**普通に歩く程度の速度** ●屋外平坦路での走行
4～6	**早足で歩く程度の速度** ●安全な広い場所での走行

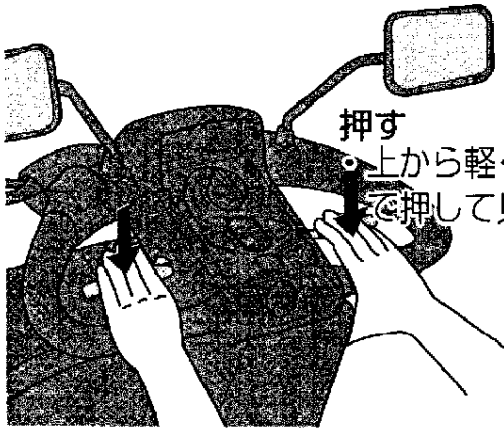
⚠注意

禁止	●走行中は速度調整ダイヤルを変更しない。 **守らないと事故によるけがのおそれがあります。**
必ず守る	●下り坂ではダイヤル「2」以下で前進走行してください。 **守らないと事故によるけがのおそれがあります。**

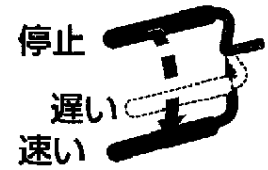
8 発進操作をする

アクセルレバーを下に押すと発進します。

●発進するときは前後左右の安全を確認してください。



●アクセルレバーを最後まで押し込むと設定値の最高速度が出ます。押し込み量により速度のコントロールができます。



●左右どちらか一方のアクセルレバーを押すと発進します。

⚠注意

必ず守る

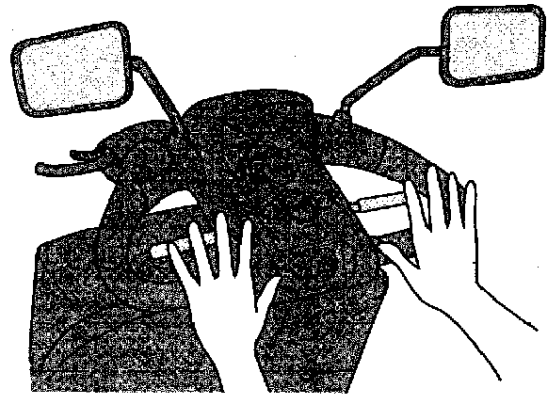
●後進時は後方に人や障害物がないか確認してください。
●衣服などを車輪に巻き込まれないように注意してください。
注意をおこたると事故によるけがのおそれがあります。

9 停止操作をする

●制動距離は天候や路面の状態によって変わります。余裕をもって停止してください。

通常停止は

アクセルレバーから手を離すと停止します。

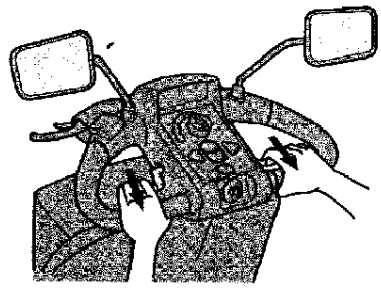


緊急停止するときは

アクセルレバーを手前に引くと停止します

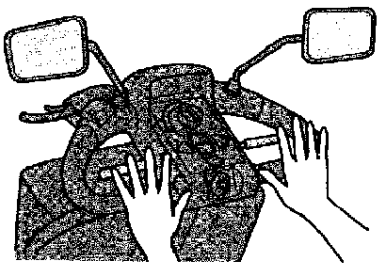
・ブレーキが作動すると警告音が鳴り（23ページ参照）、急停止します。

※前のめりにならないようにハンドルをしっかり握っておいてください。



手を離すと緊急ブレーキは解除されます。

※アクセルレバーを下に押すと再び走行します。



⚠注意

禁止

●アクセルレバーを下げたまま走行中、キースイッチを「切」にしないでください。

急停止し、大きな衝撃を受けることがあります。

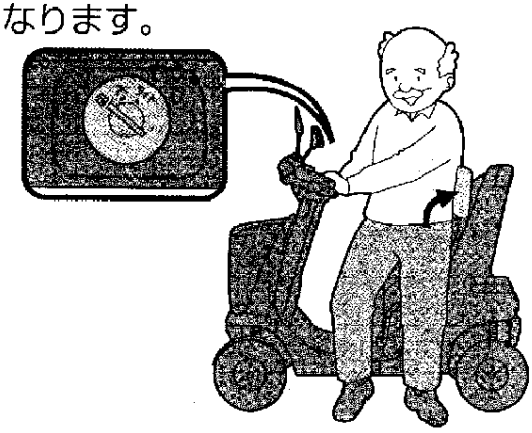
運転のしかた

10 降車する（駐車・停車するときは）

●後方の安全を確認し、キースイッチを「切」の位置にして、降りてください。車から離れるときは必ずキーを抜いてください。（盗難や事故防止）

●アームレストを上にあげると降りやすくなります。

※キースイッチを「入」にしたまま1時間経過するとバッテリーの放電を防ぐため、自動的に電源を切ります。（ランプが消えます。）
このときは一度「切」にして再度「入」にすると元の状態にもどります。



⚠注意

必ず守る

●乗車降車は平坦な場所で行ってください。

●無断使用を防ぐため、キーの保管は厳重に行ってください。

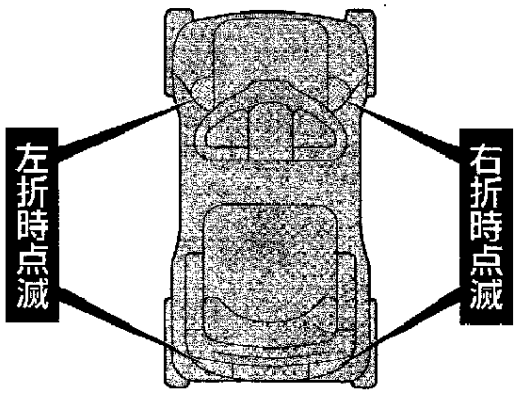
事故によるけがのおそれがあります。

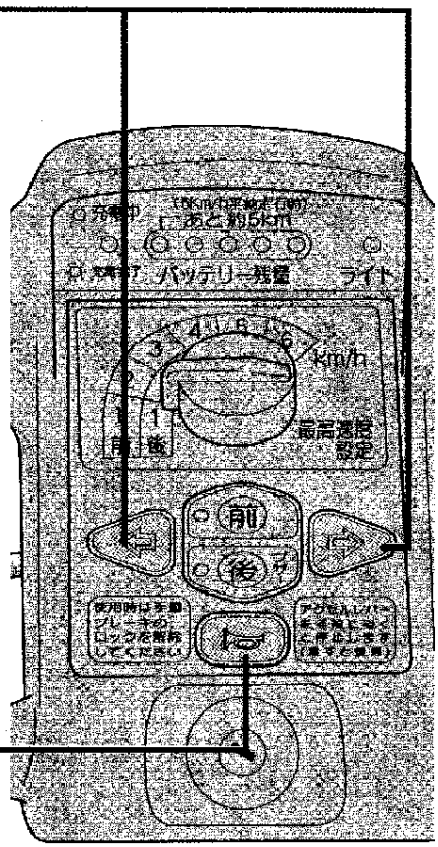
■ ウィンカー（方向指示器）の出しかた

右左折するときに必ず合図として使用してください。

① 右に曲がるときは右側を、左に曲がるときは左側のボタンを押してください。
ウィンカーが点滅し、ブザーが鳴ります。

② 解除するときは再度ボタンを押してください。
（解除しなければ5分後自動消灯します。）
・曲がり終ったら必ず解除してください。

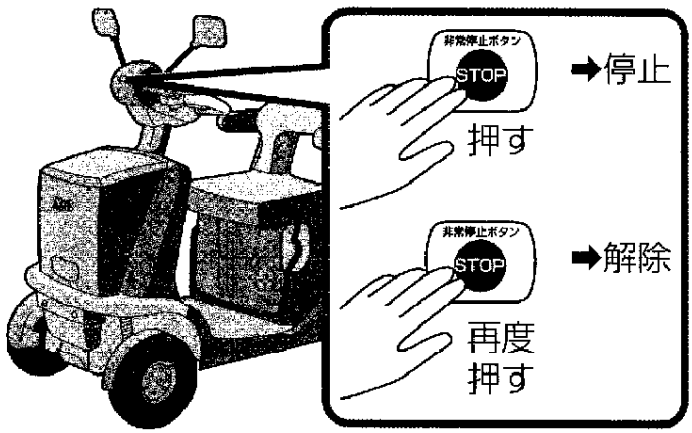




■ クラクション(警笛)の使いかた

● ボタンを押すと「ピ・ピ・ピ・ピ・ピ・ピ」と鳴ります。
（離すと音が止まります。）

※ ■ 非常停止ボタンの使いかた



● 緊急時、介助者または歩行者がボタンを押すとブザーが鳴り（23ページ参照）、急停止します。
非常停止ボタンを再度押すと解除されます。

※非常停止ボタン装着車に限ります。非常停止ボタンはメーカーオプションです。

■ クラッチの使いかた

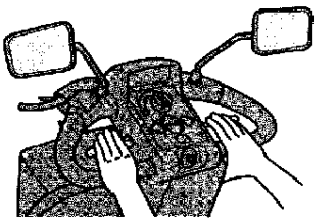
緊急時以外は使用しないでください。

用途 電池切れや故障時などの緊急時にカートを安全な場所に手押しで移動させるときに使用します。

機能 通常、ブレーキがかかっており電動カートはアクセルレバーを押さえなければ動きませんが、クラッチレバーを上げると電動カートを手で押して動かすことができます。

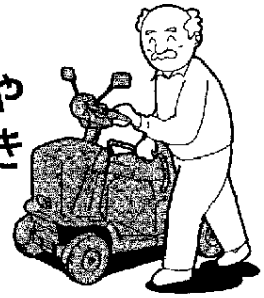
通常

押しても動かない



アクセルレバーで移動

電池切れや故障のとき

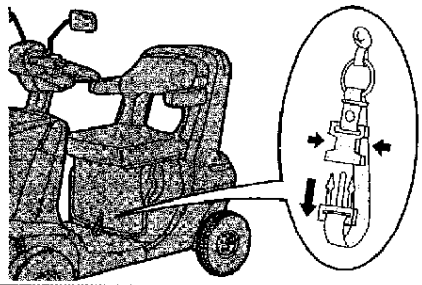


クラッチを上げ手押しで移動

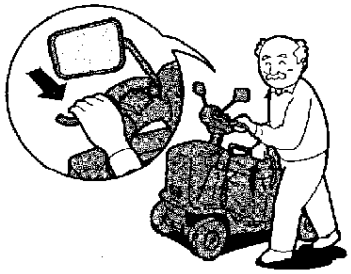
使いかた

① キースイッチを「切」にする

② 固定ベルトをはずす



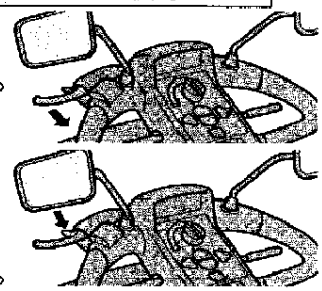
③ 手動ブレーキを握ってクラッチハンドルを上げる



④ 手動ブレーキを調整しながら本体を動かす

クラッチ使用時の制御には手動ブレーキを使用します。

- 停止するときは手動ブレーキを手前に引く。ロック解除レバーが自動的にロックされる。
- 再び動かすときはロック解除レバーを手前に引いてロック解除する。



⚠警告

禁止

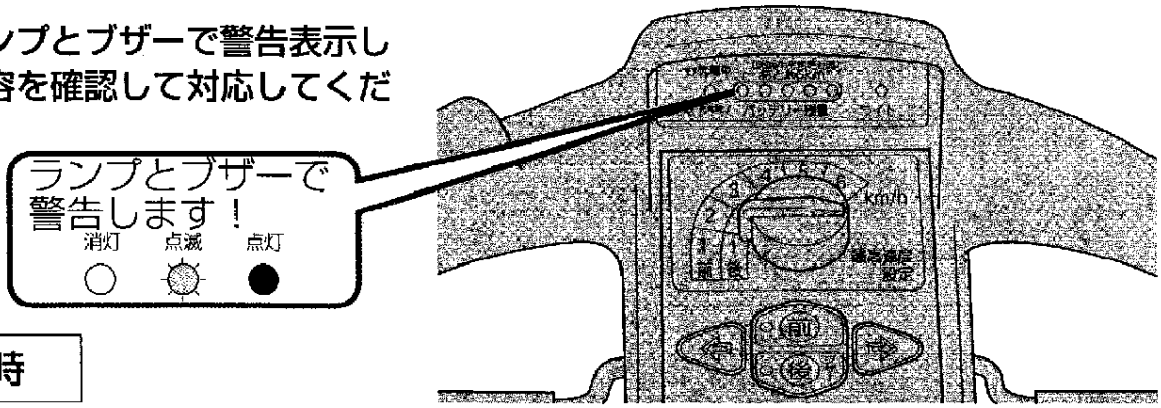
●乗車中や坂道では絶対にクラッチレバーを上げないでください。
●緊急時以外はクラッチレバーを上げないでください。
重大事故のおそれがあります。

必ず守る

●クラッチレバーを上げる場合は平坦な場所で行なってください。
●クラッチレバーを上げるときは必ずキースイッチを「切」にしてください。
衝突・転倒のおそれがあります。

運転のしかた ●ランプやブザー表示について

パネル面のランプとブザーで警告表示します。必ず内容を確認して対応してください。
（下記表参照）

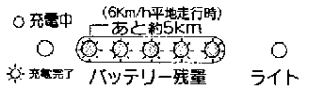
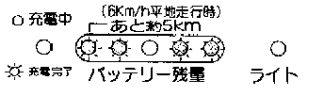
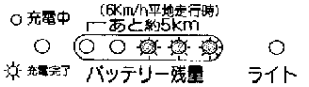
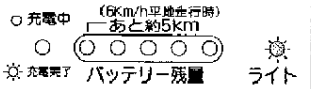


通常使用時

ランプ表示	警告音	警　告　内　容	対応（復帰）方法
○充電中　（6Km/h平地走行時）あと約5km ○ ○○○○○ ○ 充電完了　バッテリー残量　ライト 緑ランプ全て点滅	ピピピピ…	●緊急停止警告 ・アクセルレバーを手前に引き、緊急停止したことをお知らせします。	・手を離してアクセルレバーを戻す。（再びアクセルレバーを下に押すと走行します。）
○充電中　（6Km/h平地走行時）あと約5km ○ ○○○○○ ○ 充電完了　バッテリー残量　ライト 緑ランプ1個点滅	ピピピピピ… （5回）	●電池あと約5km警告 ・あと約5kmで電池がなくなります。 （時速6km　平地走行時）	・できるだけ早く充電する。
○充電中　（6Km/h平地走行時）あと約5km ○ ○○○○○ ○ 充電完了　バッテリー残量　ライト 緑ランプ1個点滅	ピッ・ピッ （停止するまで）	●電池あと約100m警告 ・あと約100mでバッテリーがなくなります。 （時速6km　平地走行時） ※坂を登り続けた場合は警告音は鳴らない場合があります。	・すぐに充電する。充電する場所がない場合は安全な場所に本体を止める。 ・キースイッチを「切」にし、再び「入」にすると更に約100m走行できます。 （著しくバッテリーを劣化させる場合がありますので、緊急時以外は避けてください。）
○充電中　（6Km/h平地走行時）あと約5km ○ ○○○○○ ○ 充電完了　バッテリー残量　ライト 緑ランプ3個点滅	ピピピピ…	●非常停止警告※ ・介助者または周囲の歩行者が非常停止ボタンを押した時、運転者及び周囲の歩行者に危険をお知らせします。	・非常停止ボタンを再度押すと解除されます。 アクセルレバーをはなしてから再びアクセルレバーを下に押すと走行します。

※非常停止ボタン装備車に限ります。
　非常停止ボタンはメーカーオプションです。

異常時

ランプ表示	警告音	警告内容	対応(復帰)方法
 緑ランプ5個点滅	ピピピピ…	**●キースイッチ動作警告** ・アクセルレバーを押した状態でキースイッチを「入」の位置にしています。	・キースイッチを「切」の位置に戻し、手を離してアクセルレバーを戻し、再び「入」にしてください。
 緑ランプ4個点滅	①ピッ、ピッ…(負荷がなくなるまで) ②ピッー(動作を継続して停止したとき)	**●モーターロック警告** ・車輪が溝にはまったり、壁に当たったりし、モーターに大きな負荷がかかっています。動作を継続した場合停止します。	・車輪が溝にはまっている場合は溝から車輪を出してください。 ・壁にあたっている場合は、壁から離れてください。
 緑ランプ3個点滅	①ピッ・ピッ…(温度が下がるまで鳴ります) ②ピー(高温のまま走行し続け停止したとき)	**●過熱警告** ・12度をこえる登り坂の走行などで本体内部の温度が上昇しています。高温のまま走行を続けると停止します。	・安全な場所に本体を止め、5分以上休んでください。
 「ライト」の赤ランプ点滅	ピッピッ…(約10秒間)	**●ライトランプ切れ警告** ・ライトのランプが切れています。	・ライトのランプを交換してください。 (34ページ参照)
 緑ランプ4個点滅、1個点灯	ピー	**●故障警告** ・本体が故障しています。	・走行している場合は、本体を安全な場所に止めて、販売店にご相談ください。

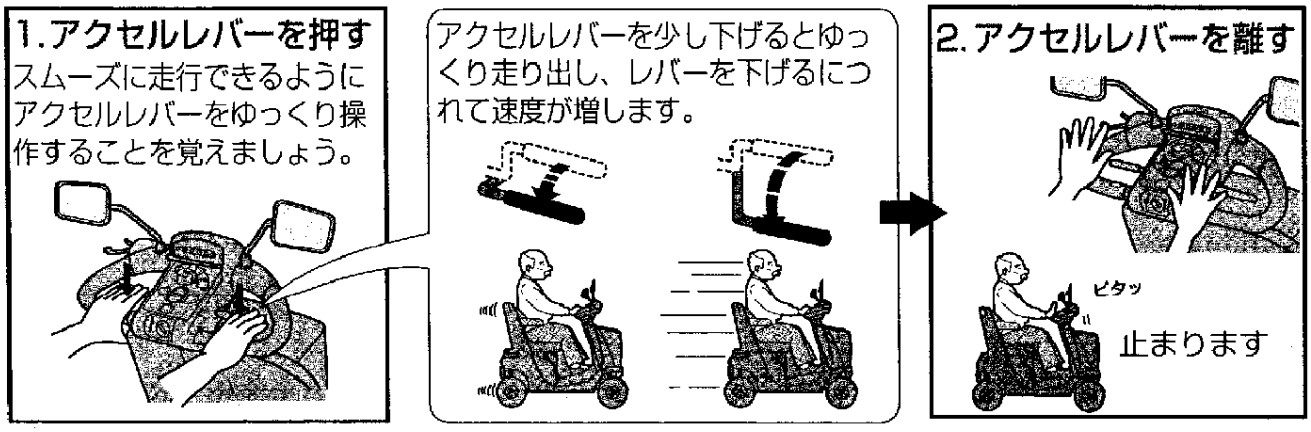
1 公園などの広い場所で十分練習する

● 練習開始の際は最高速度調節ダイヤルを「2」以下にしてください。

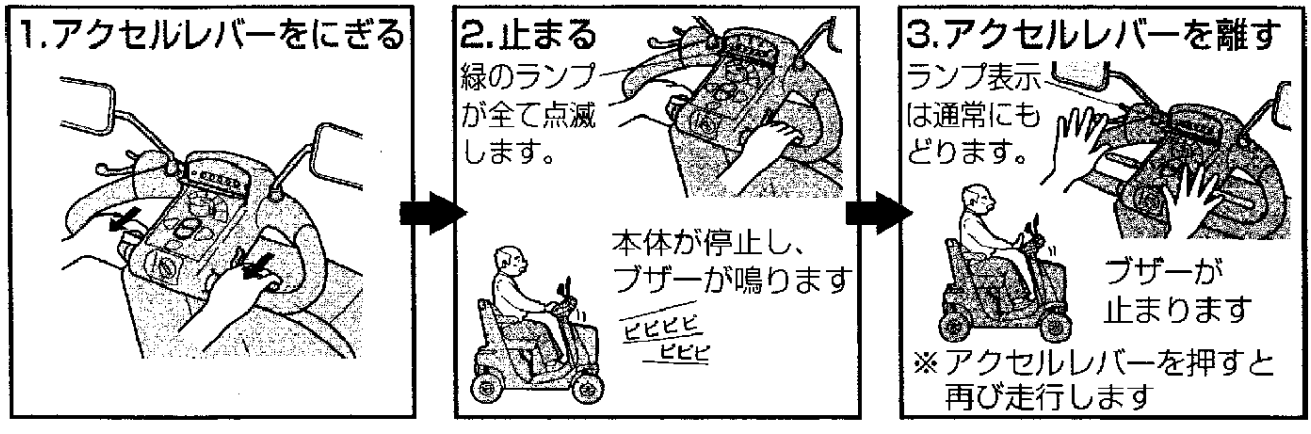
練習のポイント

1.基本動作を覚える

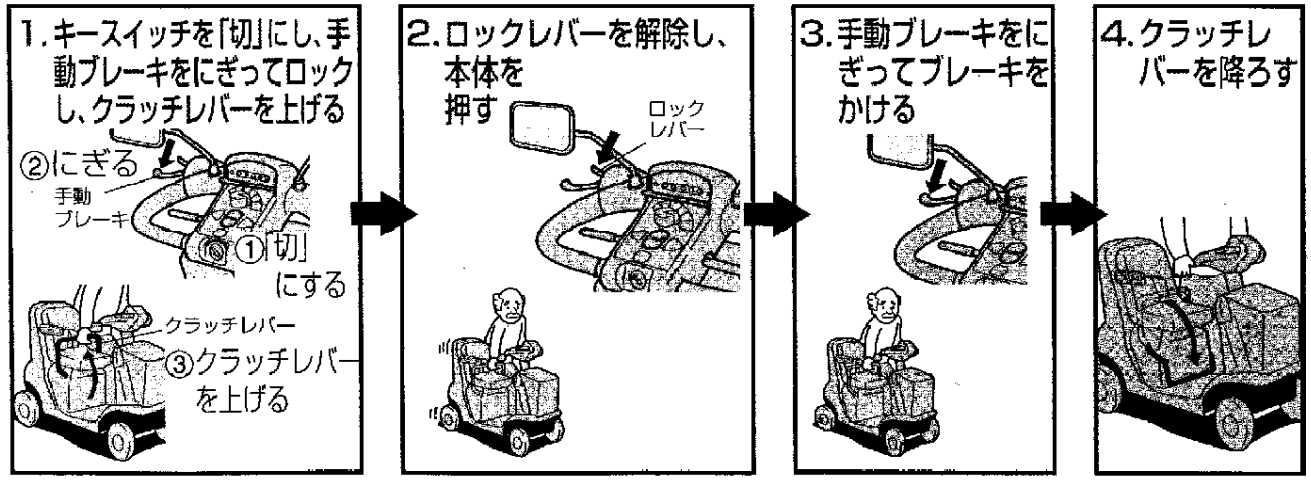
①実際に動かしてみましょう ⇨ アクセルレバーを押すと動き、離すと止まります。



②緊急ブレーキをかけてみましょう ⇨走行中にアクセルを手前に引くと緊急ブレーキがかかります。（ランプが点滅し、ブザーが鳴ります）停止後は手を離してください。（ブザーが止まります）

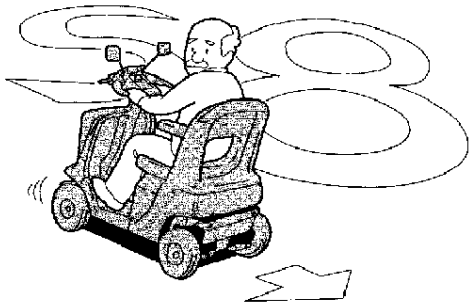


③クラッチを使って手押しで動かしてみましょう

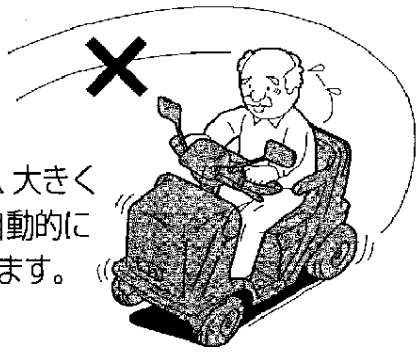


2.車の動きに慣れる

初めはゆっくり前進を、続いてS字走行や8字走行、後進へと順次練習し、車の動きに慣れてください。



次に徐々に速度をあげて走行しましょう。但し、高速でのS字走行、急旋回は転倒のおそれがありますのでやめてください。

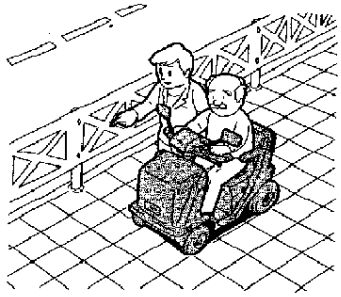


- 時速4km以上の場合、大きくハンドルを切ると、自動的に時速4kmまで減速します。

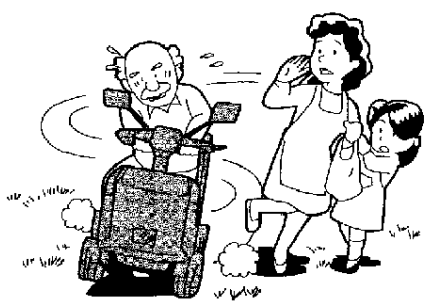
2 路上を走行する

走行時の注意点

初めて道路に出るときは介助者に同行してもらい、安全な道路と走行順路を確認しながら走行しましょう。



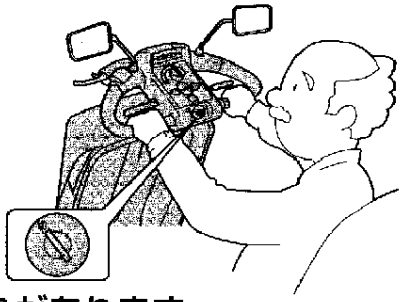
乱暴な運転は周囲の方への迷惑になり、事故にもつながりますので絶対にやめましょう。



⚠注意

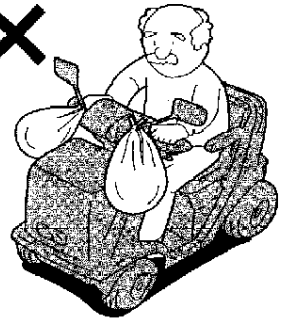
必ず守る

信号待ちや踏み切りで停止している時は、アクセルレバーから手を離し、キースイッチを「切」にしてください。



事故のおそれがあります。

禁止



- 買い物袋等をハンドル部やバックミラーに引っ掛けないでください。

事故のおそれがあります。

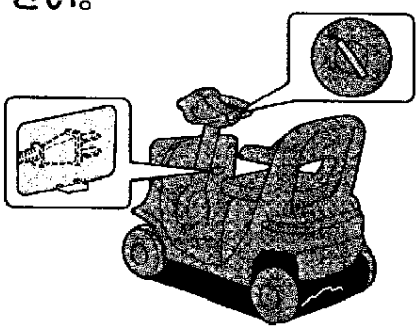
お手入れ・保管

お手入れ

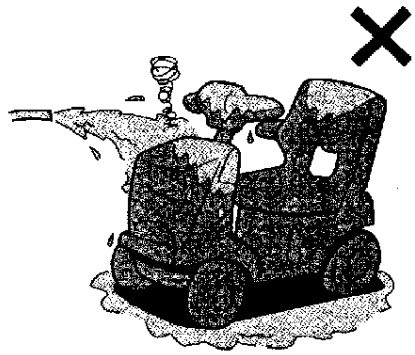
よく水気を絞ったやわらかい布で車体の汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取り、その後水気を絞ったやわらかい布で拭いてください。

お手入れ時のご注意

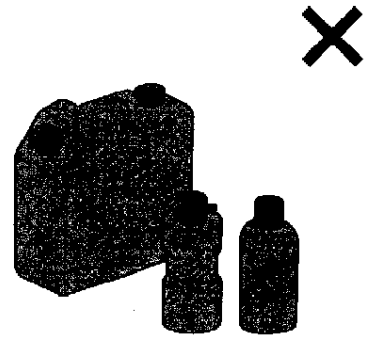
本体を手入れする場合は、キースイッチを「切」位置にし、充電コードを収納してコードシャッターを閉じた状態で行ってください。



水洗いはしないでください。また雨天時のお手入れも避けてください。電気系統の故障の原因となります。



ガソリン・シンナー・ベンジン・ワックスなどは使用しなでください。変形・損傷などの原因となります。



保　管

次の状態で保管してください。

- キースイッチは「切」の状態にしてキーを抜いてください。
- 充電コードはコードシャッターを閉じた状態で収納されているか確認してください。

アドバイス

- 雨・露・直射日光などを受けない場所に保管してください。
- 長期間保管する場合は必ず満充電にし、3ヵ月に1度は充電してください。

点　検　●日常点検

走行する前には、次の点検を必ず行ってください。異常がみられる場合は、
必ず販売店に相談してください。

⚠注意

必ず守る

- 部品交換時は松下電工純正部品を使用してください。
- 異常が認められた場合はそのまま走行しないでください。

守らないと事故によるけがのおそれがあります。

アドバイス

- 走り始めは十分注意をして走行し、異常がないことを確認してください。

点検箇所	点検内容
キースイッチ	「入」にしたときバッテリー残量表示が点灯しますか？／「切」にしたとき消灯しますか？
ハンドル	ゆるみ・ガタはありませんか？
	左右スムーズに旋回しますか？
前進後進切換ボタン	正常に作動しますか？／「後進」にしたとき警告音が鳴りますか？
最高速度調節ダイヤル	正常に作動しますか？
アクセルレバー	押し下げると走行し、戻すと停止しますか？／手前に引くと停止しますか？
モーター	モーターの回転音に異常はありませんか？
	電磁ブレーキは作動しますか？（アクセルレバーを押さない状態で押しても動きませんか？）
手動ブレーキレバー	レバーを引き込み力は適切ですか？／ロック解除レバーはロック・解除できますか？
クラッチレバー	上げれば車体が動き、下げれば停止しますか？
電池残容量表示（緑色）	ランプが点灯しますか？（バッテリーの残量は十分ですか？）
クラクション	クラクションは鳴りますか？
ウィンカーボタン	前後左右全てのランプは点灯しますか？汚れ・損傷はありませんか？
ライト	ライトは点灯しますか？／汚れ・損傷はありませんか？
シート	シートは前後にずれませんか？
後方反射板	汚れ・損傷はありませんか？
バックミラー	汚れ・損傷はありませんか？
アームレスト	スムーズに上下できますか？
ボックス	水抜き穴がつまっていませんか？
タイヤ	亀裂・損傷はありませんか？／金属片・石・その他の異物がささっていませんか？
	タイヤの溝はすりへってませんか？（見方P34参照）
	タイヤの取付はゆるんでいませんか？
その他	異常な音はしませんか？
	オイル漏れはありませんか？

点　検　●定期点検

安全にご使用いただくため、購入後1ヵ月目と以降6ヵ月毎に定期点検を受けてください。
定期点検は販売店にご相談ください。

アドバイス

- ●マイウォークを使用されない場合も定期点検は受けてください。
- ●長期間使用しなかった場合は、使用する前に定期点検を受けてください。

✓：異常なし　A：調整　△：修理　×：交換　T：締付け　C：清掃　L：給油

点検項目		1か月	6か月	1年	1年半	2年	2年半
パネル部	電池残量表示（緑色）のランプが点灯しますか？						
	最高速度調整ダイヤルは1～6㎞/hの範囲を示しますか？						
	前進後進切替ボタンは正常に作動しますか？						
	前進後進切替ボタンを「後進」にしたとき警告音が鳴りますか？						
	前進後進切替ボタンを押したとき「前進」、「後進」の各ランプ（赤色）は点灯しますか？						
	ウインカーボタンの左（右）を押せばランプは左前後（右前後）点灯しますか？						
	クラクションボタンを押せばクラクションは鳴りますか？						
	コネクター接続部のゆるみ・損傷はありませんか？						
アクセルレバー	押し下げると走行し、戻すと停止しますか？						
	押し下げ量によって速度が変化しますか？	—					
	手前に引くと停止しますか？（握り込み停止）						
	手を離すと、レバーはスムーズに戻りますか？	—					
ハンドル部	ハンドルを前後に押しても異常なガタがないこと？						
	ハンドルは左右スムーズに回転しますか？						
	手動ブレーキの遊びは適切ですか？						
	手動ブレーキを握るとロックがかかりますか？（手動ブレーキのロックがかかりますとカートは動作しません）						
	バックミラーのゆるみ、汚れ、損傷はありませんか？						
ライト	ライトは点灯しますか？／汚れ、損傷はありませんか？						
シート	シートを前後方向に押しても、ガタはありませんか？						
	アームレストはスムーズに上下に動きますか？						

✓：異常なし　A：調整　△：修理　×：交換　T：締付け　C：清掃　L：給油

点検項目		1か月	6か月	1年	1年半	2年	2年半
クラッチレバー	レバーをシート高さ以上に上げると車体が手動で動きますか？						
	レバーを下げれば停止しますか？						
ハーネス	コネクター接続部のゆるみ・損傷はありませんか？						
モーター	モーターの回転及び回転音に異常はありませんか？						
	電磁ブレーキは作動しますか？（キースイッチOFF／手動ブレーキを戻している時およびキースイッチON／アクセルレバーを離している状態で車体が動かぬこと）						
	コネクター接続部のゆるみ・損傷はありませんか？						
	モーター刷子の摩耗はありませんか？						
クラッチ ギヤーボックス	クラッチの作動具合はいいですか？						
	クラッチケーブルの摩耗・損傷はありませんか？						
	ギヤーボックスの下部にオイルが付着していませんか？						
	ギヤーオイルの交換はしましたか？（3年に1度）	—	—	—	—	—	—
	ギヤーオイル交換時、オイルの量は適正ですか？						
ハンドル	ステアリングシャフトの取付け具合・損傷はありませんか？						
	ステアリングシャフトの軸受部のガタはありませんか？						
ボックス	水抜き穴がつまっていませんか？						
ブレーキ	ブレーキスイッチの作動は適正ですか？						
	ブレーキケーブルのゆるみ・損傷はありませんか？						
	ブレーキドラムとライニングの隙間の状態はいいですか？						
	ブレーキシューの摺動部・ライニングの摩耗はありませんか？						
	ブレーキドラムの摩耗・損傷はありませんか？						
サスペンション	ボルト、ナット類のゆるみはありませんか？						
	サスユニットの損傷はありませんか？						
	サスペンションの作動具合は良いですか？						
	サスペンションの異常音はありませんか？						
バッテリー	ターミナルの締付け、腐蝕はありませんか？						
	コネクター接続部のゆるみ・損傷はありませんか？						
	温度センサーの取付け状態、損傷に問題はありませんか？						

点　検　●定期点検

✓：異常なし　A：調整　△：修理　×：交換　T：締付け　C：清掃　L：給油

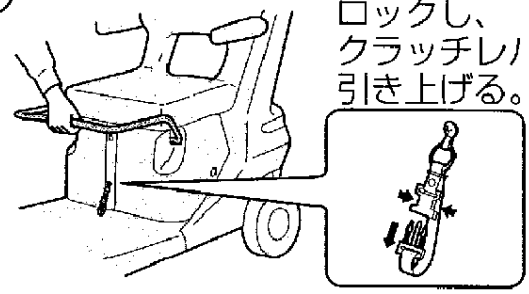
点検項目		1か月	6か月	1年	1年半	2年	2年半
充電器	充電状態はよいですか？(バッテリー残容量表示で確認)						
	コネクター接続部のガタ・損傷はありませんか？						
	ランプの点灯はしていますか？(パネル部にて確認)						
	コードリールの損傷はありませんか？						
タイヤ	タイヤの亀裂・損傷はありませんか？						
	金属片、石、その他異物がささっていませんか？						
	タイヤの溝はすりへっていませんか？						
	タイヤの異常摩耗はありませんか？						
	タイヤの取付けはゆるんでいませんか？						
ホイール	ボルト、ナット類のゆるみはありませんか？						
	ホイールの損傷・変形はありませんか？						
後方反射板	汚れ・損傷はありませんか？						
その他	全体として異音・作動のスムースに問題はありませんか？						
	全体としてボルト、ナットのゆるみはありませんか？						

●主な部品の点検・整備

交換時は必ずキースイッチを「切」の位置にし、手動ブレーキをロックして平坦な場所で行ってください。

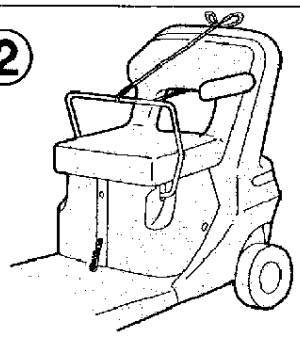
●バッテリーの交換

①



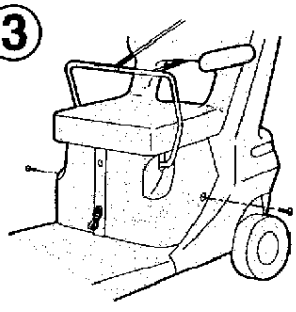
手動ブレーキをロックし、クラッチレバーを引き上げる。

②



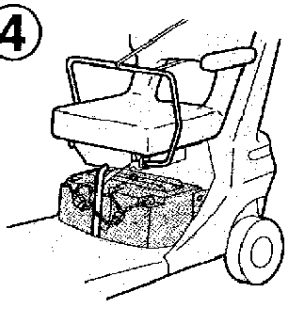
クラッチレバーを固定する。
(ひも等で結ぶ)

③



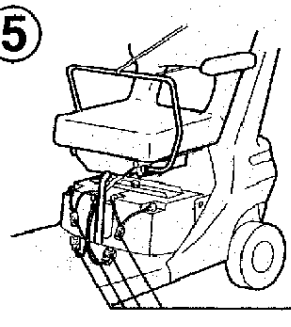
バッテリーカバーをはずす。

④



この様になる。

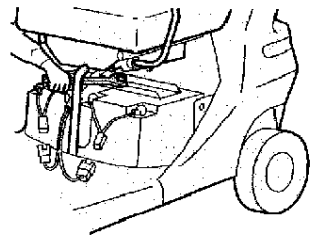
⑤



バッテリーハーネスのコネクタ2つはずす。
(赤・黒線)

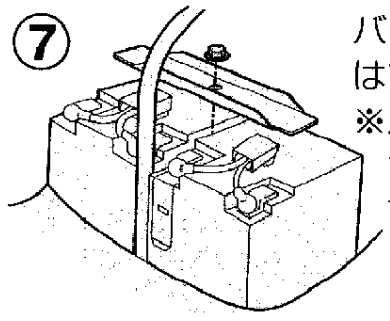
バッテリーコネクタ

⑥



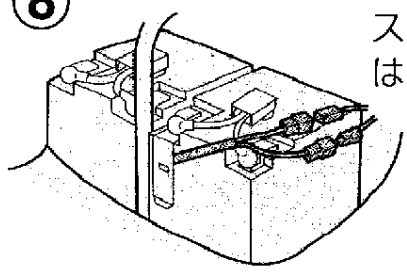
バッテリー押え用固定ナット(M8)をスパナではずす。

⑦



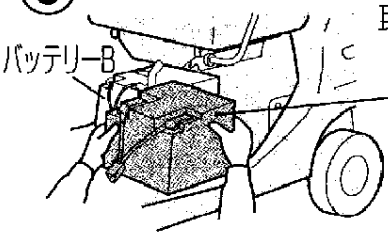
バッテリー押え板をはずす。
※バッテリーと短絡させない様に注意する。

⑧



温度センサーハーネスのコネクタ2つをはずす。

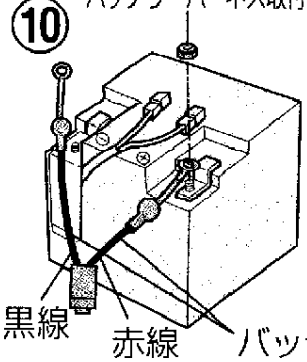
⑨



バッテリーAを取り出す。

バッテリーA

⑩

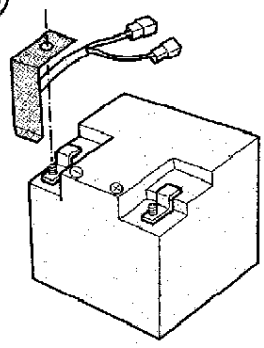


1. バッテリーハーネス取付ナット(M5)をスパナではずし、バッテリーハーネスを古いバッテリーからとりはずす。

➡次頁へ

バッテリーハーネス

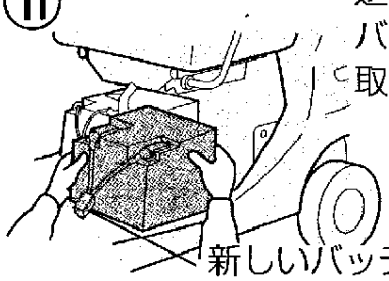
⑩



2. 温度センサーハーネスを取りはずす。（マイナス側）
3. 新しいバッテリーにバッテリーハーネスと温度センサーハーネスをナットで固定します。
   - ⊖に黒線と温度センサー、⊕に赤線が固定されていることを確認してください。
4. 同様にバッテリーBもバッテリーハーネスの付け替え作業を行ってください。（温度センサーハーネスは付いていません。）

・温度センサーがバッテリーにすきまなく固定されていることを確認してください。
離れていると温度センサーが正しく働かないおそれがあります。（離れている場合、手で金属板を曲げて調節してください。）

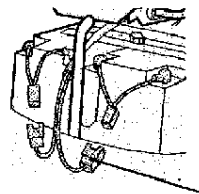
⑪

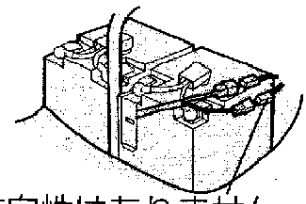


逆の手順でバッテリーを本体に取り付け固定する。

新しいバッテリーを取り付ける

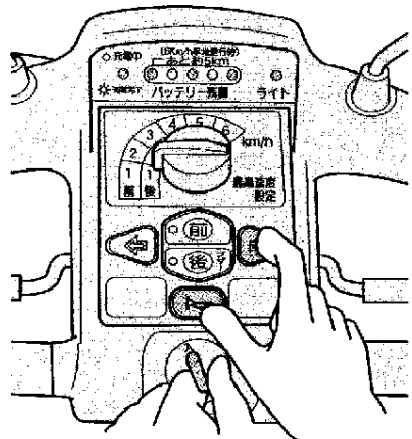
・本体から延びているコネクターに方向性はありません。どちらの線につないでも同じです。





方向性はありません

⑫



バッテリー交換時のコントローラーリセット操作をする。
・クラクションボタンと右ウィンカーボタンを同時に押したままキースイッチを「入」にする。
2秒たってピーという音とLEDの点灯を確認して、キースイッチをOFFにすればリセット完了。

リセット操作は必ず行ってください。
新しいバッテリーを取り付けても走行距離が短くなります。

バッテリー清掃・交換時のご注意

- **バッテリーに貼付されているラベルをよく読んで、その指示に従ってください。**
- **バッテリーのシール部分はあけないでください。**
- **バッテリーを持ちあげる時は必ず両手で行ってください。**
- **バッテリーターミナルは常に清潔にしてください。**
- **交換後はまず充電してください。**
- **不要になったバッテリーは取扱い処理に注意する。**

鉛電池リサイクルについて

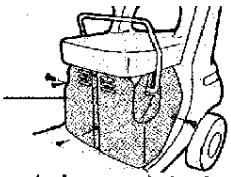
松下電工は環境保護と資源の有効利用を考えてバッテリーに使われている鉛電池のリサイクルに取り組んでいます。使用済のバッテリーはご面倒ですがお買い求めの販売店もしくはリサイクル協力店までお持ちくださいます様、ご協力をお願い致します。

＜本製品の使用電池＞
・名称：小型シール鉛蓄電池LC-C1238APJ
・公称電圧：12V／1個　数量：2個

Pb
小型シール鉛蓄電池は
リサイクルへ

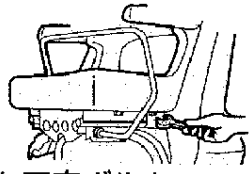
●シートの調整

①



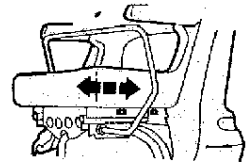
手動ブレーキをロックしクラッチレバーを引き上げ、バッテリーカバーをはずす。

②



シート固定ボルト（M8）を左右4ヶ所、スパナでゆるめる。

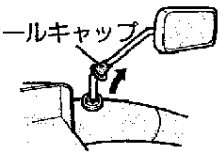
③



シート位置を調整して、逆の手順で固定する。
（約8cmスライドできます。）

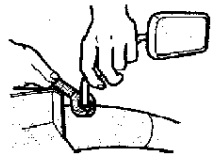
●バックミラーの調整

①



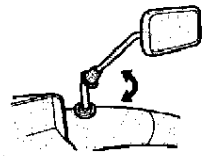
バックミラーシールキャップをずらす。

②



バックミラーを手で固定し、根元の六角ナット（M13）をスパナでゆるめる。

③

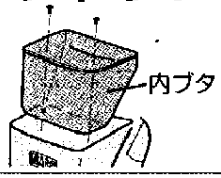


調整する。

- 逆の手順でバックミラーを固定する。左右とも同じ手順です。

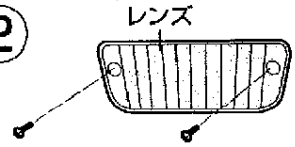
●ヘッドランプの交換

①



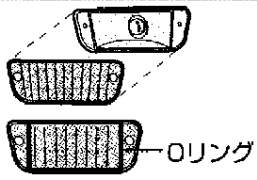
ボックスから内ブタをはずす。

②



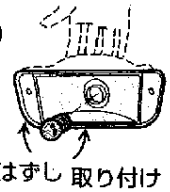
レンズのネジを2ヶ所はずす。

③



レンズをはずす。
※レンズ内側のOリングがはずれたら必ず取り付けてください。

④



ランプを回して取りはずし、新しいランプを取り付ける。

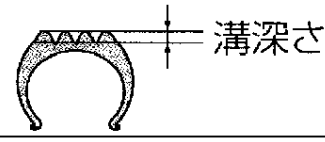
- 逆の手順で組立てる。

※レンズ取り付け時は、ボックス裏側から図の様にライト部を押して、ネジを締めてください。

●タイヤの点検

タイヤの状態は、走行性能やバッテリーの消費量に大きな影響を与えます。

■溝の深さの点検
溝の深さをデプスゲージなどで点検します。
規定値（0.5mm）以下の場合は、交換してください。



⚠注意

禁止

- すり減ったタイヤ（0.5mm以下）で走行しないでください。

スリップなど事故の原因となります。

お知らせ　●仕様

諸元	形式		EZ4701-G
	本体寸法（全長×全幅×全高）		1190×680×1080mm
	シート寸法（幅×奥行×背もたれ高）		410×380×300mm
	重量（バッテリーを含む）		109kg
	駆動モータ（30分定格出力）		DC24V480W×1個
	バッテリー（5時間率容量）		12V35Ah×2個（小型シール鉛蓄電池）
	充電器		DC26V6A　マイコン制御自動充電器
	充電時間		約8時間（空の状態から満充電までの場合）
	充電コードの長さ		1.5m
	前後輪		3.0-4　パンクレスタイヤ
	駆動方式		後2輪直接駆動方式（デファレンシャルギア付）
	制動方式		後輪：モータ発電制動＆電磁ブレーキ、手動ブレーキ
	操舵方式		ループハンドルによる前輪操舵
	制御方式		アクセルレバーによる無段階電子制御方式
	シート構造		前後位置調節式、肘掛け跳ね上げ式
性能	最高速度	前進	1～6km/h　無段階調節付
		後進	1～2km/h　無段階調節付
	登降角度	実用	10度
		最高	12度　※1
	連続走行距離	使用者体重55kg、容量90%	約30km（ライト点灯時は約5%走行距離が短くなります。）※2
		使用者体重100kg、容量70%	約17km（ライト点灯時は約5%走行距離が短くなります。）※3
	最小回転半径		1520mm
	段差乗越高		80mm　※4
	溝乗越幅		120mm　※4
	使用者最大体重（積載物含む）		100kg
	使用可能温度		充電時 －10℃～40℃、走行時0℃～40℃

■ 最小回転は最外側の半径を示します。
■ シート寸法の幅は、アームレストの内側寸法を示します。
■ マイウォークはTSマーク（形式認定）を取得しています
■ マイウォークの基本性能はJIS T9203-1999に適合しています。

※1 使用者最大体重（積載物含む）100kgで連続走行50mが可能な角度。
※2※3 バッテリー満充電状態において、時速6kmで平坦路を走行したときの数値を示します。
（※3 JIS T9203－1999）
※4 使用者最大体重（積載物含む）100kg、50cm以上の助走をつけたとき。

●別売品について

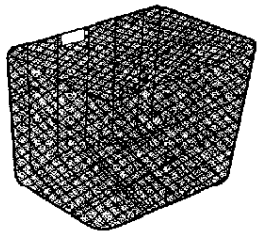
別売品（オプション）関連

別途取付料金がかかります。
（下記価格には取付料金は含まれておりません。）

雨や日差しを
和らげます。

折りたたみ式屋根
希望小売価格
EZ4950 ￥50,000（税別）

お買物に便利



リアバスケット
希望小売価格
EZ4951 ￥6,000（税別）※

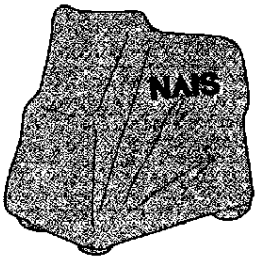
杖を収納

ステッキホルダー
希望小売価格
EZ4952 ￥6,500（税別）※

松葉杖を収納

松葉杖ホルダー
希望小売価格
EZ4953 ￥11,000（税別）※

雨や雪から
車体を守ります。

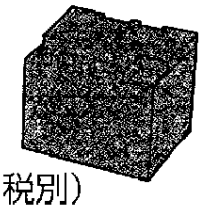


車体カバー
希望小売価格
EZ4954 ￥10,000（税別）

標準装備

バックミラー
（イラストは右用です）
希望小売価格
右用 EZ4956 ￥2,500（税別）
左用 EZ4957 ￥2,500（税別）

標準装備



バッテリー
希望小売価格
EZ4958 ￥25,000（1個）（税別）

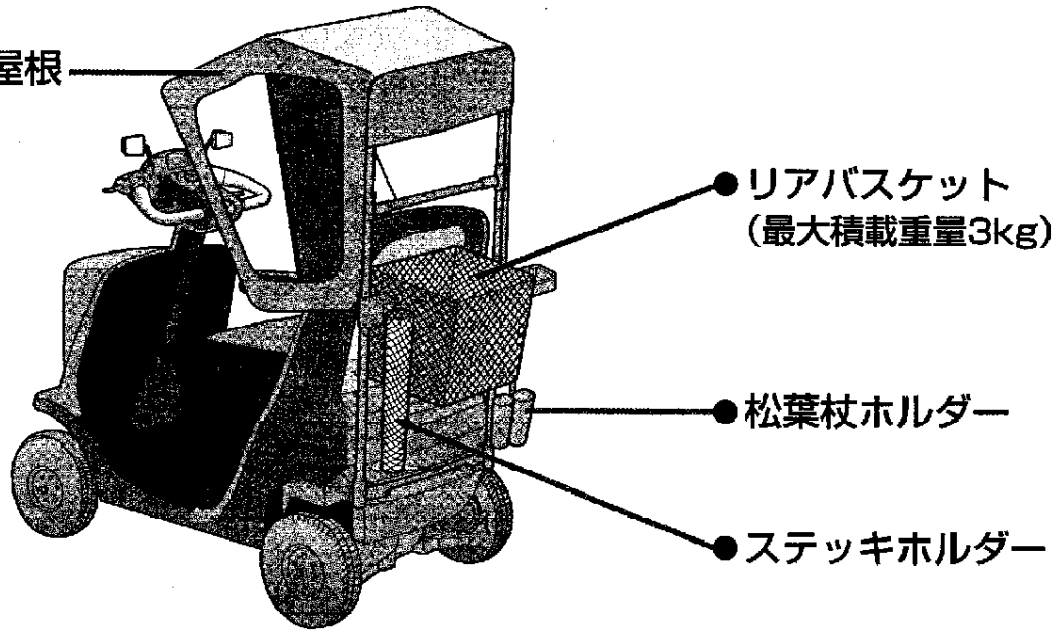
⚠注意

必ず守る

- ●部品交換時は松下電工純正部品を使用してください。
- ●バッテリーは2個同時交換してください。

守らないと事故によるけがのおそれがあります。

※リアバスケット、ステッキホルダー、松葉杖ホルダーは電動カート本体と同時にご注文頂いた場合に限り非課税となります。



お知らせ

お知らせ ●故障かな?!と思ったとき

	症状	考えられる原因
走行前	発進しない。 ●バッテリー残量表示も点灯しない。	キースイッチが「切」の位置になっている。
		バッテリーの残量がない。
		スリープモードになっている(自動的に電源が切れている状態)。
	発進しない。 ●バッテリー残量表示は点灯する。	前後進切替を行ったと同時にアクセルレバーを押した。
		手動ブレーキのロックがかかっている。
	発進しない。 ●警告ブザーが鳴りバッテリー残量表示が点滅する。 (原因により点滅パターンは異なります。 14、23~24ページ)	※非常停止ボタンが押されたまま、復帰していない。
		アクセルレバーを押した状態で、キースイッチを「入」の位置にしている。
		充電プラグを差したままになっている。
		アクセルレバーを手前に引いている。
走行中	警告ブザーが鳴りバッテリー残量表示が点滅する。 (原因により点滅パターンは異なります。 23~24ページ)	バッテリーの残量が少なくなっている。 (あと約5kmかあと約100m)
		急な坂道を長時間走行している。
		車輪が溝にはまったり、壁に当たったりしモーターに負荷がかかっている。
		登坂限界。
	警告ブザーが鳴り残量表示が点滅し停止した。	アクセルレバーを手前に引いている。
		バッテリーがなくなった。
		※非常停止ボタンが押された。
	残量表示が点灯しているのに停止した。	前進/後進切替ボタンを誤って切替えた。
	走行距離が短くなった。	バッテリーの寿命。
		0℃~40℃以外の気温で走行、-10℃~40℃以外の気温で充電した。
充電時	警告ブザーが鳴りバッテリー残量表示が点滅する。	キースイッチが「入」または「ライト」の位置になっている。
	充電ランプも残容量表示も点灯しない。	電源(AC100V)がきていない。
その他	ライト点灯表示が点滅する。	ライトのランプが切れています。
	異常音がする。	タイヤの溝に石が入りこんだり、車体に異物がひっかかっている。

※非常停止ボタンは装着車に限ります
非常停止ボタンはメーカーオプションです

処置と処理

- キースイッチを「入」にしてください。
- すぐに充電してください。
- キースイッチを一旦「切」にし再度「入」にしてください。
- 一度アクセルレバーを戻し約1秒後再度押してください。
- ロック解除レバーを引いて、ロックを解除してください。
- 非常停止ボタンを再度押し、復帰させてください。
- キースイッチを「切」の位置に戻し、手を離してアクセルレバーを戻し、再び「入」にしてください。
- 充電プラグを抜き、コードを収納してください。
- アクセルレバーから手を離し、再びアクセルレバーを、下に押してください。
- 充電してください。
- 安全な場所に本体を止め、5分間以上休んでください。
- 車輪が溝にはまっている場合は溝から車輪を出してください。
  壁にあたっている場合は壁から離れてください。
- 登坂を中止して戻ってください。
- アクセルレバーから手を離し、再びアクセルレバーを下に押してください。
- ただちに充電してください。
- 非常停止ボタンを再度押し、復帰させてください。
- アクセルレバーを一旦離して、前進後進切替ボタンをもう一度押してください。
- バッテリーを交換してください。
- −10℃~40℃で充電し、0℃~40℃で走行してください。
- キースイッチを「切」にしてください。
- 屋内配線のブレーカーを確認してください。
- ライトのランプを交換してください。
- タイヤの石や異物を取り除いてください。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
- 修理点検に出してください
(39ページ参照)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書について

この電動カートには保証書を別途添付しております。(但し、バッテリーは保証の対象外です。)
保証書は販売店でお渡しいたしますから、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

●**保証期間はお買い上げの日から1年間です。**
（一般家庭用以外に使用された場合は除きます。）

修理を依頼されるとき

サービスをご依頼される前に、この取扱説明書の37～38ページに従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店へご依頼ください。

●**保証期間中は**

お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況（出来るだけ具体的に）ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。
保証書の記載内容により販売店が修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

●**保証期間を過ぎているときは**

お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●**販売店にご依頼になれない場合は、お近くの松下電工お客様ご相談窓口（別紙一覧表参照）にご連絡ください。**

●**アフターサービスについてご不明な点は**

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口（別紙一覧ご参照）にお問い合わせください。

松下電工株式会社　パワーツール商品事業部
〔〒522-8520〕滋賀県彦根市岡町33番地
電動カートお客様ご相談窓口　フリーダイヤル(無料)
0120−26−9674(AM9:00～12:00 PM1:00～5:00 土･日･祝日を除く)

EZ901047011　103-1YY①

必ずお読みください～バッテリーについて～

【充電・交換のポイント】

●使わないときは必ず満充電にし、3ヶ月に1度は充電してください。
3ヶ月以上放置するとバッテリーが回復しないことがあります。
（電源スイッチが「切」でもバッテリーは少しずつ消耗します。）

●バッテリーは空の状態にしないことが長持ちの秘訣です。使用後すぐに充電してください。（バッテリー残量に関係なく、使用後は充電完了まで充電されることをおすすめします。）

●長期間放置した後は必ず満充電し、2～3分走行してからバッテリー残量表示を確認してください。
※走行後、バッテリー残量表示が早く減るときには、14時間連続で充電し、これを2～3回繰り返してください。それでも表示が早く減るときはバッテリーの寿命です。バッテリーを交換してください。（取扱説明書 P32～33参照）

●バッテリーは正しく使用していても月日が経つと徐々に性能が衰えていくため、新品時に比べ走行距離か短くなっていきます。同じ様な使い方をしていても、バッテリー残量表示の減り具合が早くなってきた時はバッテリーを交換してください。（取扱説明書 P32～33参照）
※目安：満充電時の走行距離がバッテリー新品時の半分程度になったとき。

【走行時のポイント】

●バッテリーが満充電でない状態での使用をくり返すとバッテリーの性能劣化が早くなり、バッテリー寿命が通常より短くなるおそれがあります。

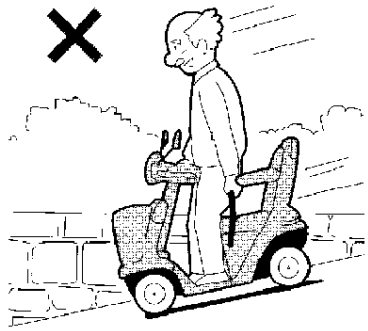
●登坂走行や段差乗り越えなどの多いところでの走行は、平地に比べバッテリーの消費が増えるため、走行距離は短くなります。

●冬期はバッテリーの働きが弱まり、走行距離が短くなることがあります。

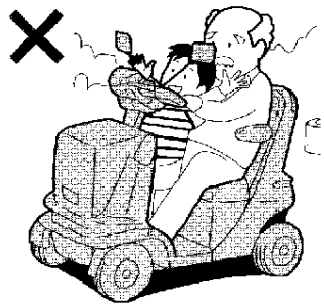
マイウオークを安全で快適にご使用頂く為に、「取扱説明書」をよくお読みいただき、安全運転を心がけてください。

安全走行上のご注意

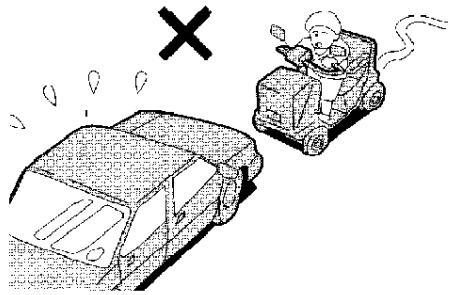
乗車中や坂道ではクラッチレバーを上げない。また緊急時以外はクラッチレバーを上げない。



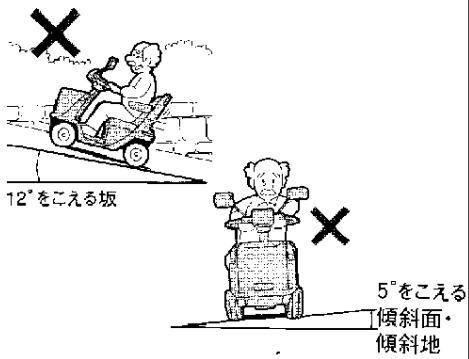
2人乗りやけん引走行をしない。特に子供を乗せて走行しない。



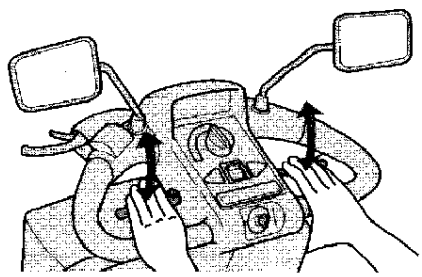
使い方や交通ルールを理解および守れない人を乗車させない。また譲渡しない。



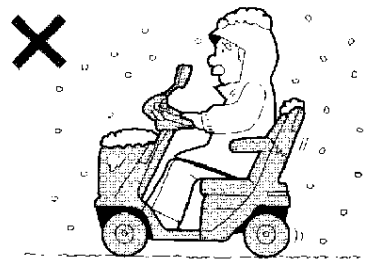
12度をこえる坂道、5度以上の傾斜面・傾斜地を走行しない。



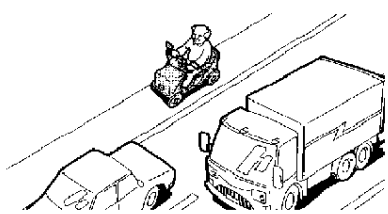
運転前にはキースイッチを「切」の状態でアクセルレバーを押し、上までスムーズにもどるか確認する。



0℃～40℃以外の気温での走行、－10℃～40℃以外の気温での充電はしない。

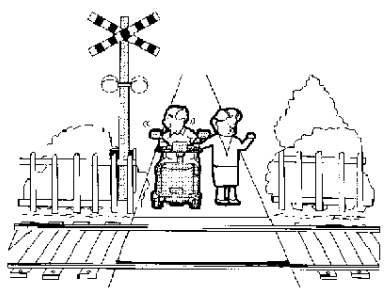


マイウォークは歩行者扱い。交通ルールを守り歩道を走る。



●歩道を通行できない場合は、車や段差に十分注意して右側通行してください。（路側帯がある場合は、路側帯を通行してください。）

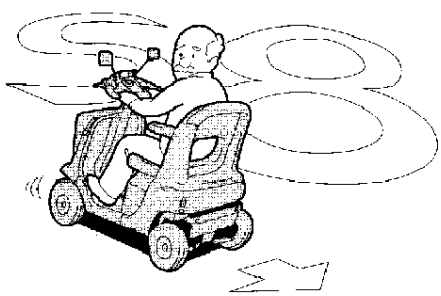
踏み切り・交差点や交通量の多い所、夜間は十分に周囲の安全を確認し、介助者を同行するなど注意する。



下記のような場所や状況下では走行しない。

- 悪天候（降雨、降雪、濃霧、強風、雷雨）
- 凍結した道、雪道
- ぬかるみ、あぜ道、砂利道、凸凹の激しい道
- 防止柵のない側溝の近く
- エスカレーター

その他の注意事項



◆電動車いす以外の用途に使用しないでください。

◆走行に慣れるまで、広い安全な場所で十分に練習してください。

◆使用後はすぐに充電してください。感電のおそれがありますのでコンセントの抜き差しは必ず乾いた手でプラグを持っておこなってください。

◆充電は乾燥した風通しの良い場所で火気厳禁でお願いします。

◆使用者最大体重は積載物を含めて100kgです。100kgを超しますと転倒や車体破損のおそれがありますのでお止めください。

◆安全にご使用いただくため、マイウォークは“危険”“警告”“注意”の安全表示ラベルを貼付しています。この内容を必ずお守りください。

NAIS電動カート
マイウォーク

緊急時連絡先カード

商品品番：EZ4701　　車体番号

ご購入者・ご使用者		住　所	電話番号
ご購入者	(カナ：　　)	〒□□□-□□□□	(　　) -
ご使用者	(カナ：　　)	〒□□□-□□□□	(　　) -
	(カナ：　　)	〒□□□-□□□□	(　　) -
	(カナ：　　)	〒□□□-□□□□	(　　) -

	ご連絡先	電話番号	営業時間	休業日
通常使用時	販売店	(　　) -		
総合お問い合わせ先	電動カートお客様ご相談窓口	(0120) 26-9674	9：00 ～ 17：00	土・日曜 ・祭日

	ご依頼先	電話番号	営業時間	休業日
夜間緊急出動依頼先	“マイウォーク”夜間緊急出動窓口 ※）緊急出動は有料（5000円）です。 ※）緊急出動とは、万一の夜間マイウォーク使用中のトラブルによる交通への悪影響を解消する為、人による移動作業を行うものです。 車でのマイウォークの移動や修理は、後日ご販売店様にご相談下さい。	(03) 5682-7613	17：00 ～ 9：00	年中無休

万一に備え、上記ご記入の上、このカードを携帯して搭乗しましょう。